

(Windows 10 Version)

パソコンの基礎と 日本語入力



体系学習★初歩からのPCテキスト

第 01 章: パソコンの概要.....	7
01 章 01 節… パソコン各部の名称	7
01 章 02 節… 電源を入れてみよう	8
01 章 03 節… マウスの持ち方	9
01 章 04 節… 「クリック」(左クリック)の練習	9
01 章 05 節… 電源を切る	12
01 章 06 節… まとめ	13
01 章 07 節… 練習問題	13
第 02 章: アプリ・ソフト・プログラムを使う	17
02 章 01 節… 「アプリ」の起動	17
02 章 02 節… アプリ「電卓」を使ってみよう 1.....	19
02 章 03 節… アプリ「電卓」を使ってみよう 2.....	21
02 章 04 節… 「ドラッグ」とは?	22
02 章 05 節… 「ドラッグ」で[ウィンドウ]を移動させる.....	22
02 章 06 節… 複数のウィンドウを使う	24
02 章 07 節… 練習問題	25
02 章 08 節… タスクバーの[右クリック]からアプリの多重起動.....	26
02 章 09 節… ウィンドウの切り替えと[閉じる].....	30
02 章 10 節… まとめ	33
02 章 11 節… 練習問題	33
第 03 章: アプリのウィンドウを扱う 1	36
03 章 01 節… 絵を描くデスクトップアプリ「ペイント」を使ってみよう	36
03 章 02 節… ペイントの倍率を変更してみよう	40
03 章 03 節… データがあるウィンドウを閉じる時	41
03 章 04 節… 「メモ帳」を起動してみよう	42
03 章 05 節… ウィンドウサイズの変更	44
03 章 06 節… ボタンを使ってウィンドウを「最大化」する	47
03 章 07 節… 「ダブルクリック」とは?	48
03 章 08 節… ダブルクリックでウィンドウを「最大化」する	48
03 章 09 節… まとめ	49
03 章 10 節… 練習問題	50
第 04 章: アプリのウィンドウを扱う 2	52
04 章 01 節… 重なっているウィンドウの前後を変更する(復習).....	52
04 章 02 節… 重なっているウィンドウの前後を変更する(複数のアプリ間).....	55
04 章 03 節… タスクビューの利用	57
04 章 04 節… まとめ	58
04 章 05 節… 練習問題	58
第 05 章: アプリのウィンドウを扱う 3	62
05 章 01 節… ボタンを使って最小化	62
05 章 02 節… すべてを最小化	65
05 章 03 節… スクロール	66

05章 04節	スクロールバーをドラッグしてスクロールする	69
05章 05節	最小化されているアプリを終了する	72
05章 06節	まとめ	74
05章 07節	練習問題	74
05章 08節	練習問題	79
第06章	文字の入力方法1・キーボードの使い方入門	83
06章 01節	「半角英数」モードでの入力	83
06章 02節	「カーソル」とは?	85
06章 03節	数値の入力	85
06章 04節	小文字アルファベットの入力	85
06章 05節	{Enter}キーで改行(エンター)	86
06章 06節	空白を「スペース」キーで作成する	86
06章 07節	{Back Space}キーでカーソルの左にある文字を消去	87
06章 08節	{↑ ↓ ←→}キーでカーソルを移動させ指定場所を削除	87
06章 09節	間違えて{Enter}やスペースを打った場合には	88
06章 10節	{Back Space}キーで上の行の末尾につなげる	89
06章 11節	上下キー{↑ ↓}や左右キー{←→}を使ってみよう	90
06章 12節	空白の挿入をしよう	90
06章 13節	改行の挿入をしよう	91
06章 14節	文末に行を追加	92
06章 15節	文字の挿入	92
06章 16節	まとめ	93
06章 17節	練習問題	93
第07章	文字の入力方法2・キーの活用	96
07章 01節	アルファベット大文字の入力	96
07章 02節	記号の作成	96
07章 03節	{Delete}キーでカーソルの右側を削除(デリート)	97
07章 04節	{End}キーで行の末尾へカーソルを移動する(エンド)	98
07章 05節	{Home}キーで行の先頭へカーソルを移動する(ホーム)	98
07章 06節	{Ctrl}+{Home}キーで全体の先頭へカーソルを移動する	99
07章 07節	{Ctrl}+{End}キーで全体の末尾へカーソルを移動する	99
07章 08節	マウスポインターを使ってカーソルを移動	99
07章 09節	まとめ	100
07章 10節	練習問題	100
第08章	「ひらがな」モードで日本語を作成する	101
08章 01節	IMEのチェック	101
08章 02節	「ひらがな」モードでひらがなを作成する	101
08章 03節	「ひらがな」モードで漢字を作成する	102
08章 04節	ローマ字による指定	104
08章 05節	単語で入力/一覧から番号で指定する	105
08章 06節	カタカナ語の作成	106

08章07節… ひらがな語の作成	106
08章08節… 予測変換の利用	107
08章09節… まとめ	107
08章10節… 練習問題	107
第09章: よく使うローマ字と記号	108
09章01節… ローマ字を使った小文字の作成	108
09章02節… [F7]キーでカタカナ変換(ファンクションキーの7番).....	108
09章03節… カタカナの「ー」	108
09章04節… むずかしいローマ字	109
09章05節… 小文字の「っ」の作成1 (Lキーを使う).....	109
09章06節… 小文字の「っ」の作成2 (次の文字を重ねる).....	110
09章07節… その他の小文字(Lを使う).....	111
09章08節… まとめ	111
09章09節… 練習問題	111
09章10節… 参考情報	111
第10章: 記号や英数字の入力.....	112
10章01節… 読みを入力して記号を作成する	112
10章02節… 半角スペースの作成	113
10章03節… キーボードから直接作成できる記号	113
10章04節… 変換して半角記号にする	114
10章05節… カッコと単語	115
10章06節… [F10]キーで記号を半角に変換.....	116
10章07節… かぎカッコの作成	116
10章08節… その他のカッコ1(直接変換).....	117
10章09節… その他のカッコ2(「かっこ」で変換).....	118
10章10節… {Shift}キーを使って「ひらがな」モードのまま英字を作成する.....	120
10章11節… [F10]キーを使って半角英字に変換.....	121
10章12節… [F10]キーを2回・3回と押すと?	121
10章13節… [F9]キーを使って全角英字に変換	122
10章14節… 1000円単位に付けるカンマ	123
10章15節… 英数字・記号がまざった単語を入力する	125
10章16節… まとめ	126
10章17節… 練習問題	126
10章18節… 練習問題(プラス α).....	126
第11章: データ・ファイルの保存と呼び出し・更新.....	127
11章01節… 準備と概要	127
11章02節… [名前を付けて保存]	128
11章03節… 保存済みのファイル呼び出す・[開く].....	131
11章04節… 保存されていたファイルを更新する・[上書き保存].....	132
11章05節… 保存についての参考情報	133
11章06節… [エクスプローラー]から保存済みのファイルを開く	134

11章 07節… まとめ	136
11章 08節… 練習問題 1	137
11章 09節… 練習問題 2	138
11章 10節… [参考]	140
第12章: 変換対象の文節を変える	141
12章 01節… 文節とは	141
12章 02節… 文節が2つ以上ある文を入力する・文節区切り	141
12章 03節… まとめ	143
12章 04節… 練習問題	143
第13章: 入力ツール	144
13章 01節… 郵便番号を住所に変換	144
13章 02節… 読めない字を調べる: IMEパッド・手書き機能の利用	144
13章 03節… ツール・単語の登録	146
13章 04節… 登録した単語を消す	148
13章 05節… まとめ	151
13章 06節… 練習問題	151
第14章: 文節の長さ・区切り位置を変更する	152
14章 01節… 太下線の文節の長さを変更する	152
14章 02節… まとめ	154
14章 03節… 練習問題	154
第15章: ESCキーを使った変換のキャンセル(エスケープ)	155
15章 01節… ひとつの文節しかない場合	155
15章 02節… 「よみ・ひらがな」の状態で{Esc}を使い入力をキャンセル	157
15章 03節… 複数の文節がある文を入力中に{Esc}キーを使う	158
15章 04節… 複数の文節を一度に「よみ・ひらがな」に戻す	159
15章 05節… {Esc}キーを利用して確定前の文字をすべて消す	160
15章 06節… まとめ	161
15章 07節… 練習問題	161
15章 08節… 総合練習問題	162
15章 09節… 参考資料	162

…  →操作説明

…  →補足説明

- 記載されている会社名、製品名は各社の商標および登録商標です。
- 本書の例題や画面などに登場する企業名や製品名、人名、キャラクター、その他のデータは架空のものです。現実の個人名や企業、製品、イベントを表すものではありません。
- 本文中には™、®マークは明記していません。
- 本書は著作権法上の保護を受けております。

- 本書の一部あるいは、全部について、合資会社アルファから文書による許諾を得ずに、いかなる方法においても無断で複写、複製することを禁じます。ただし合資会社アルファから文書による許諾を得た期間は除きます。
- 無断複製、転載は損害賠償、著作権法の罰則の対象になることがあります。
- この教材はMicrosoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
 - ◆ Version No. : Windows10 入力-160322
 - ◆ 著作・製作 合資会社アルファ
〒244-0003 神奈川県横浜市戸塚区戸塚町 118-2 中山 NS ビル 6F
 - ◆ 発行人 三橋信彦
 - ◆ 定価 -円

第01章:パソコンの概要

01章01節…パソコン各部の名称

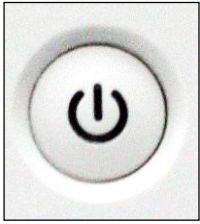
パソコンを操作する前に各部の名称をご紹介します。

	<p>ディスプレイ・モニター</p> <p>液晶タイプが主流です。 商品によってサイズが異なります。 タッチパネル対応の商品もあります。</p>
	<p>本体</p> <p>パソコンで最も重要な部分です。 ノートパソコン・タブレットパソコンの場合は、ディスプレイ・本体・キーボードが一体になっています。</p>
	<p>キーボード</p> <p>文字を入力するために使う機械です。右の数値入力用の部分を「テンキー」といいます。ノートパソコンにはテンキーがないものもあります。 タッチパネルをキーボードとして扱えるパソコンもあります。</p>
	<p>マウス</p> <p>パソコンに対して操作命令を下す際に使う機械です。 左ボタン・右ボタンがあります。 おもに、左ボタンを使います。</p>

01章02節…電源を入れてみよう

(01)パソコン本体にある電源スイッチを探してください。発見したら押しましょう。

「Power」と表示されている場合もあります。



(02)しばらくすると起動画面が表示されます。使えるようになるまで1~2分かかる場合があります。

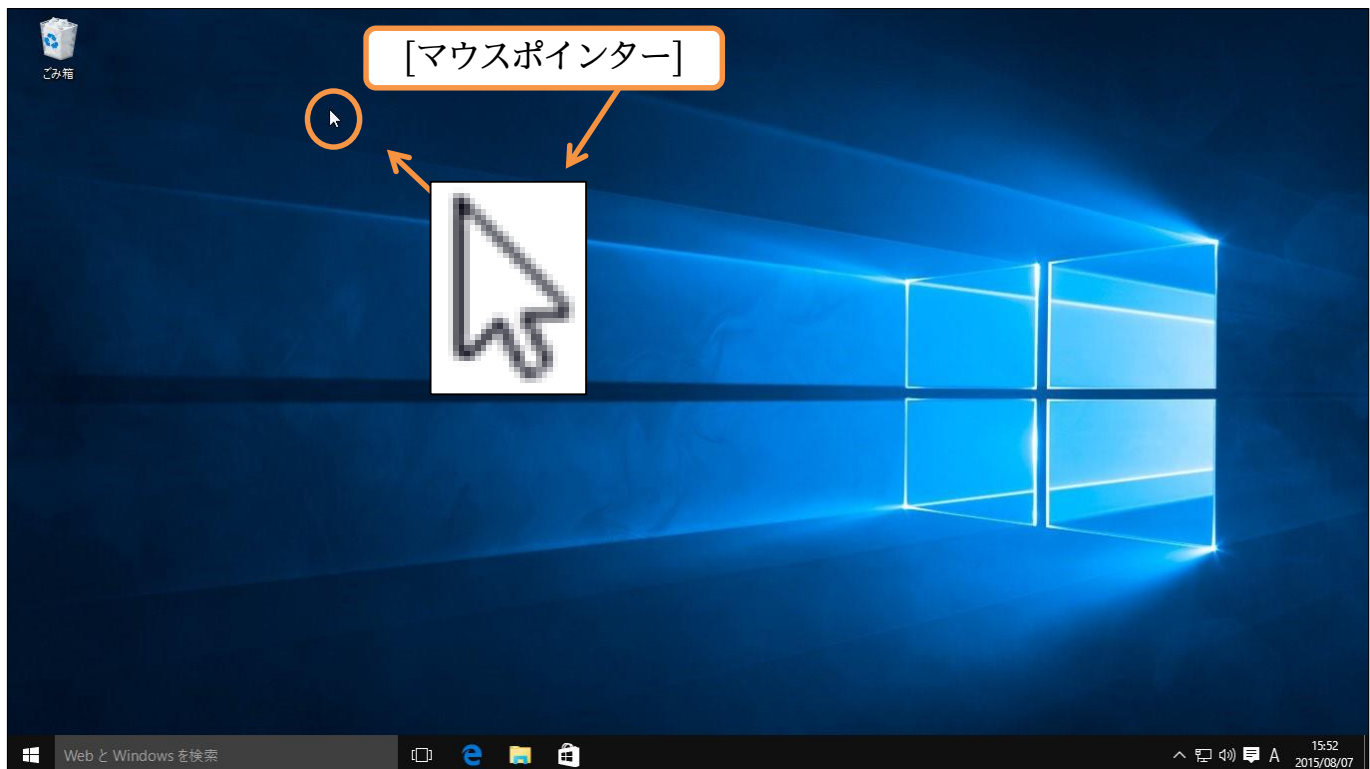
パソコンにより
異なります

(03)これが初期画面(デスクトップ)です。

画面上には、マウスを動かすと同時に連動して動く

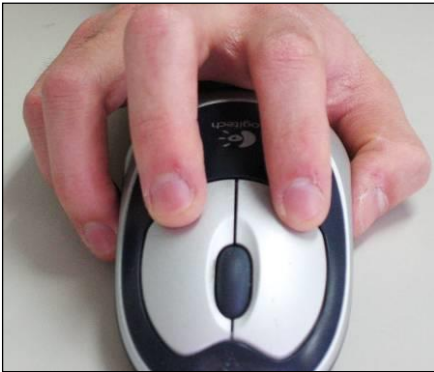
矢印マーク[マウスポインター](・マウスカーソル)があります。

マウスを動かしてみましょう。



01章03節…マウスの持ち方

机に置いたマウスを動かせば、画面内にある「マウスポインター」が連動して動いてくれます。マウスは親指と薬指ではさむように持ち、人差し指は左ボタン・中指は右ボタンに置きます。小指は適当な位置にそえてください。



親指と薬指ではさむ。人差し指は左ボタン・中指は右ボタンに置く。

動かす時には指と手首を使うようにすると、小さい範囲で大きく動かせる。

指はボタンの手前側に置くと動かしやすくなる。

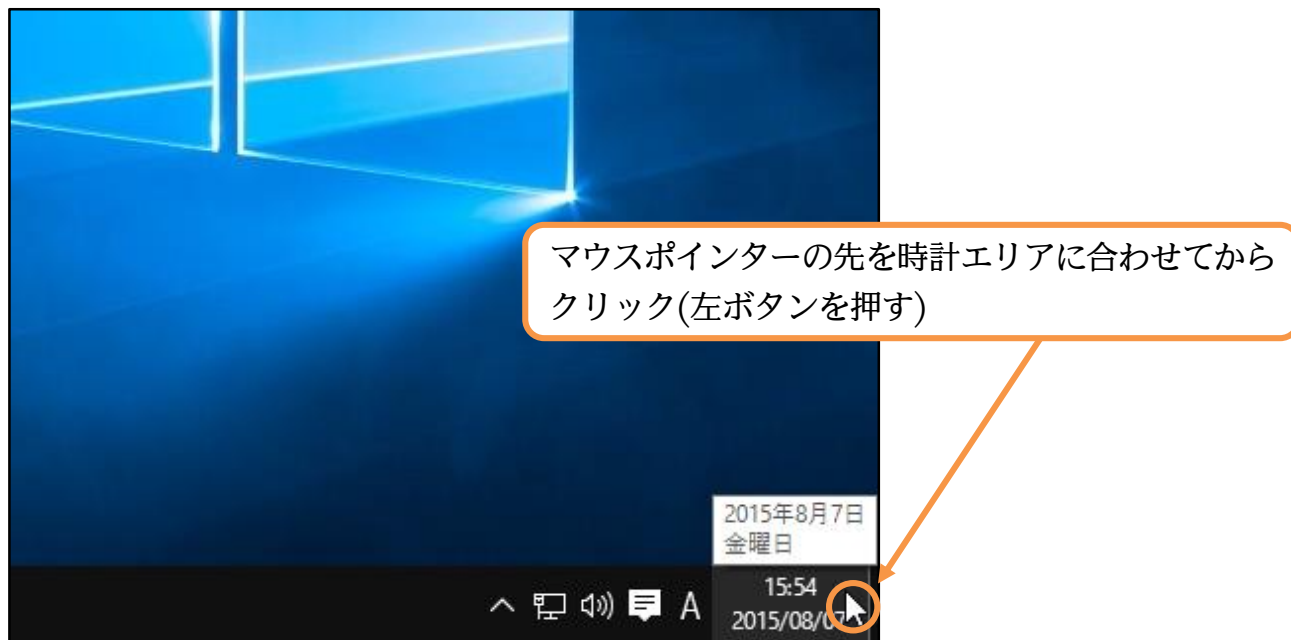
01章04節…「クリック」(左クリック)の練習

(01)マウスの左ボタンを軽く「カチッ」と押す操作を『クリック』といいます。強く押さないようにしてください。

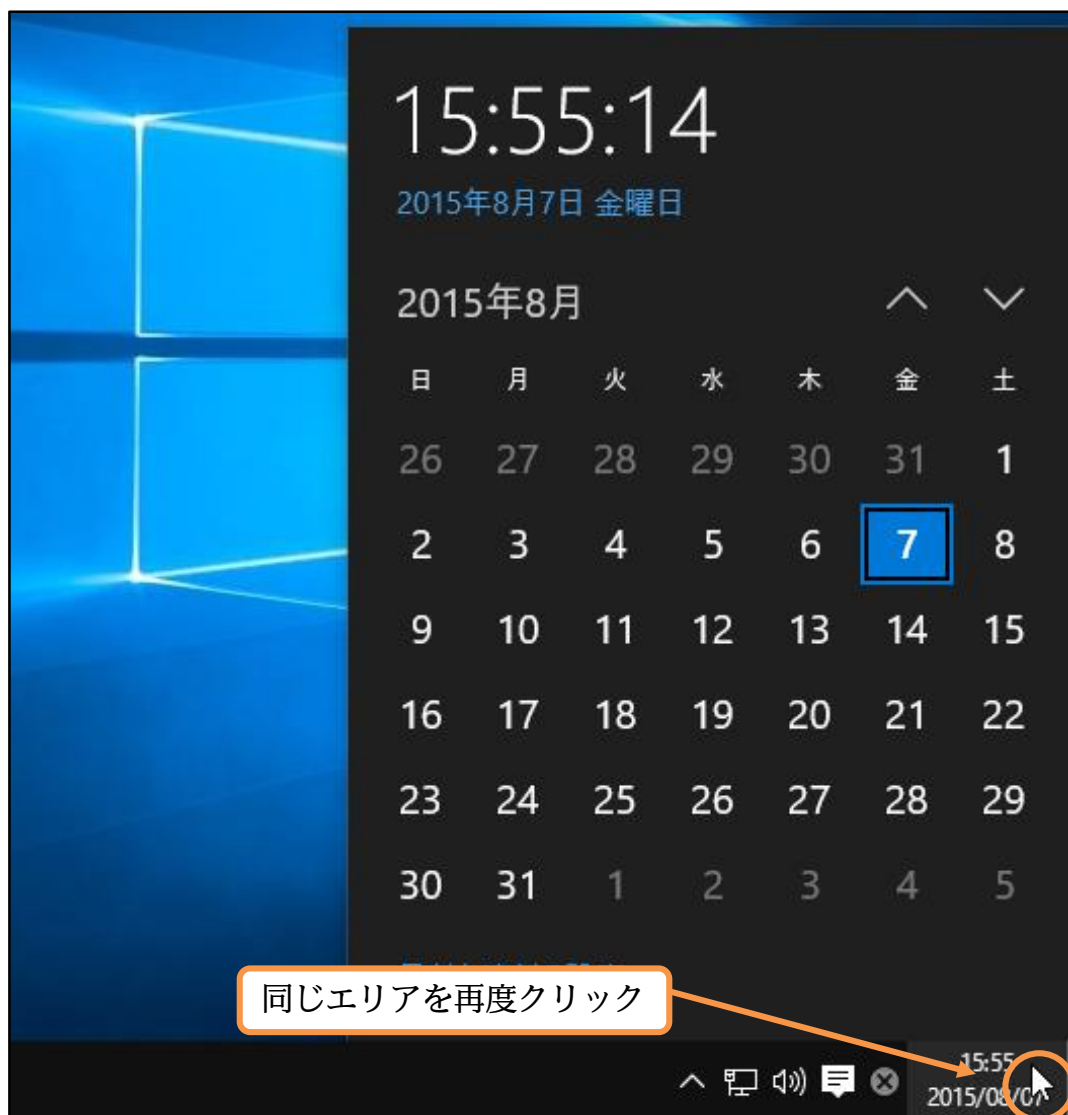
マウスの左ボタンを押す操作が『クリック』



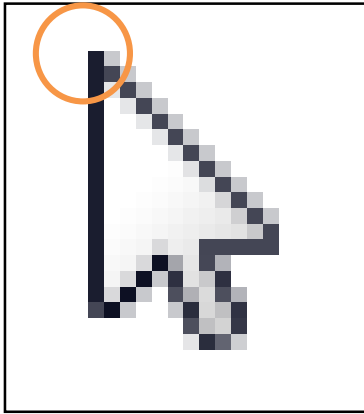
(02) それでは実際に操作してみます。画面の右下に「日付と時計」が表示されていますが、このエリアに「マウスポインター」の先を合わせましょう。合わせたら「クリック(左)」してください。



(03) 時計やカレンダーが表示されました。もう一度同じ部分をクリックすると時計・カレンダーが閉じます。クリックしてください。




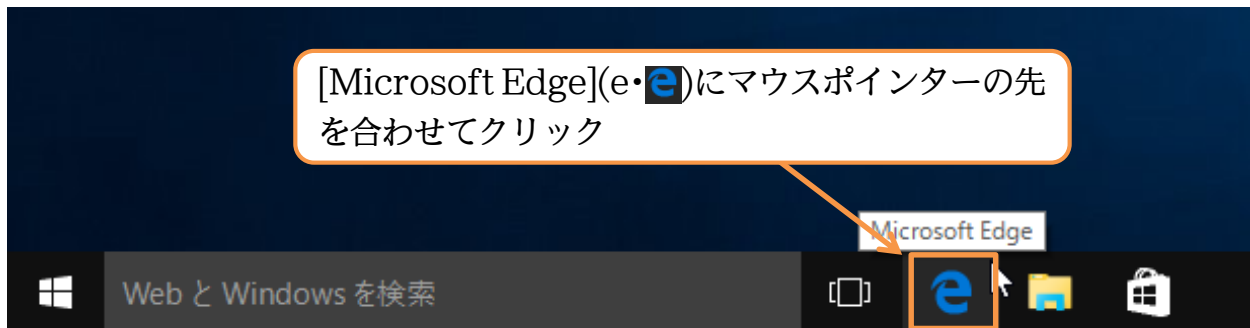
(04)このように、パソコンではマウスポインターをボタンに合わせて「クリック」することが基本操作になります。矢印型のマウスポインターの中心は、矢印の先になります。



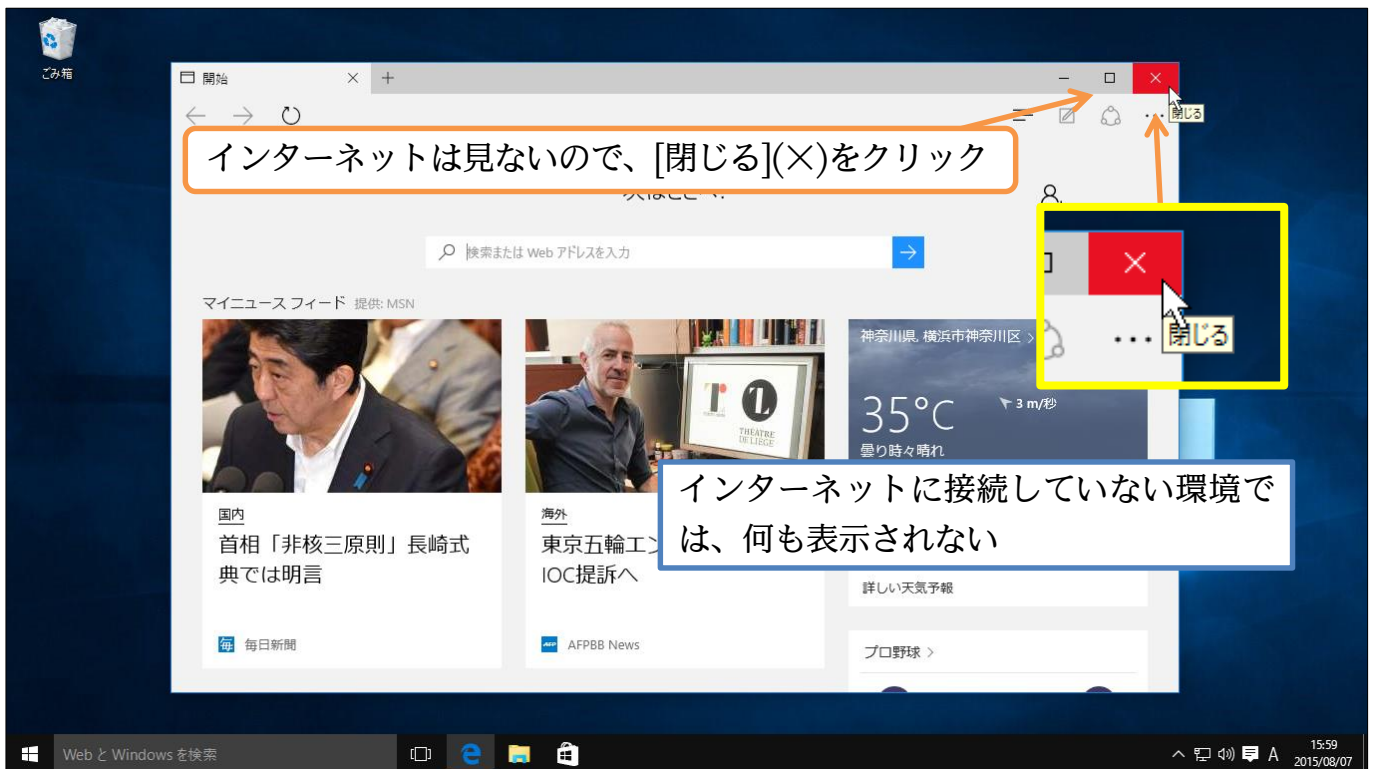
左側のボタンを「カチッ」。
これが基本操作の『クリック』。

(中心は矢印の先)

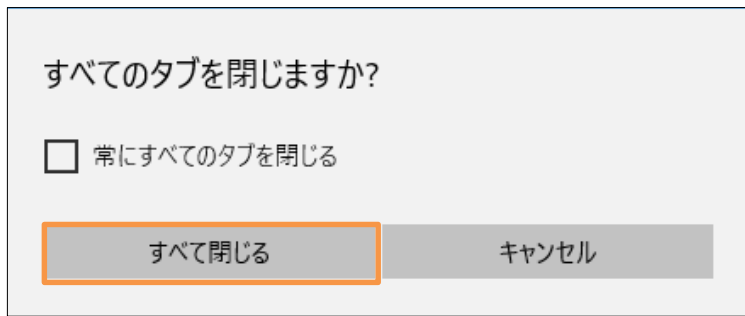
(05)他のボタンも押してみましょ。画面下部のバー内に、[Microsoft Edge](e・)というボタンがあります。これはインターネット・ホームページを見るボタンです。マウスポインターの先をこのボタンの中に合わせてクリックしましょう。



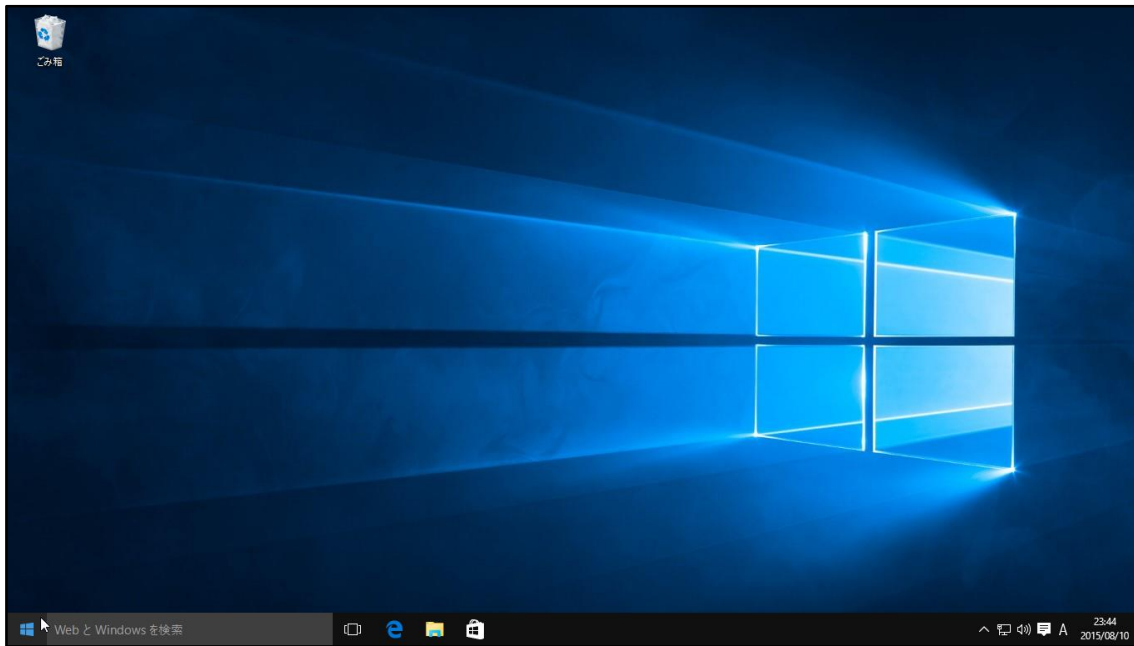
(06)今回は、インターネット・ホームページを見ません。画面を閉じます。右上の[×]ボタン・[閉じる]をクリックしてください。



(07)もし次の画面が表示されたら[すべて閉じる]をクリックしてください。
表示されなければ次へ進んでください。

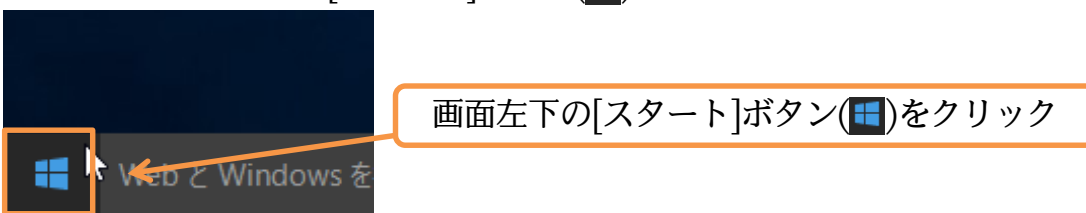


(08)初期画面に戻りました。



01章05節…電源を切る

(01)電源を入れる際には電源ボタンを押しました。しかし切る際には画面の左下にある[スタート]ボタン(☐)から[電源][シャットダウン]を使います。
まずは画面左下の[スタート]ボタン(☐)をクリックしてください。



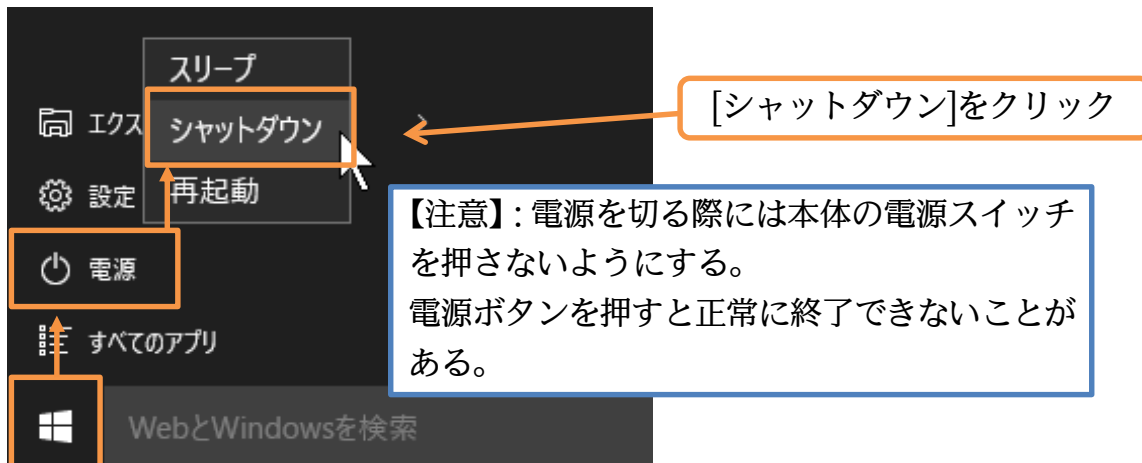
画面左下の[スタート]ボタン(☐)をクリック

(02)続けて[電源]をクリックします。

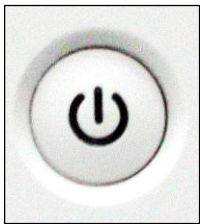


[電源]をクリック

- (03)[スタート][電源]をクリックした後に表示される[シャットダウン]をクリックします。
これで電源がオフになります。



- (04)電源が数十秒で切れます。
完全に切れたことを確認したら、スイッチを使い電源を入れなおしてください。

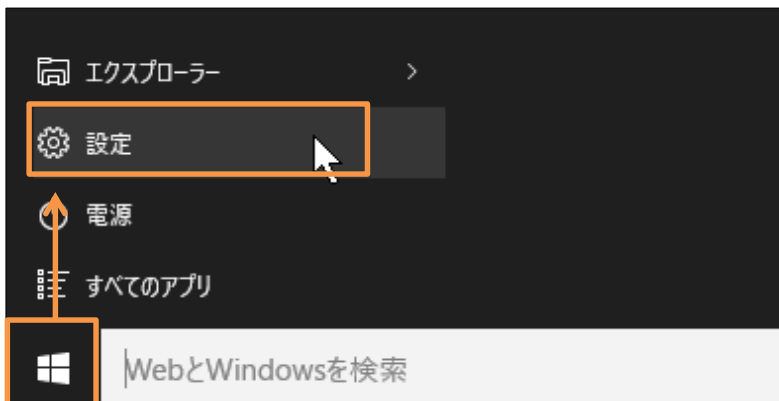


01章06節…まとめ

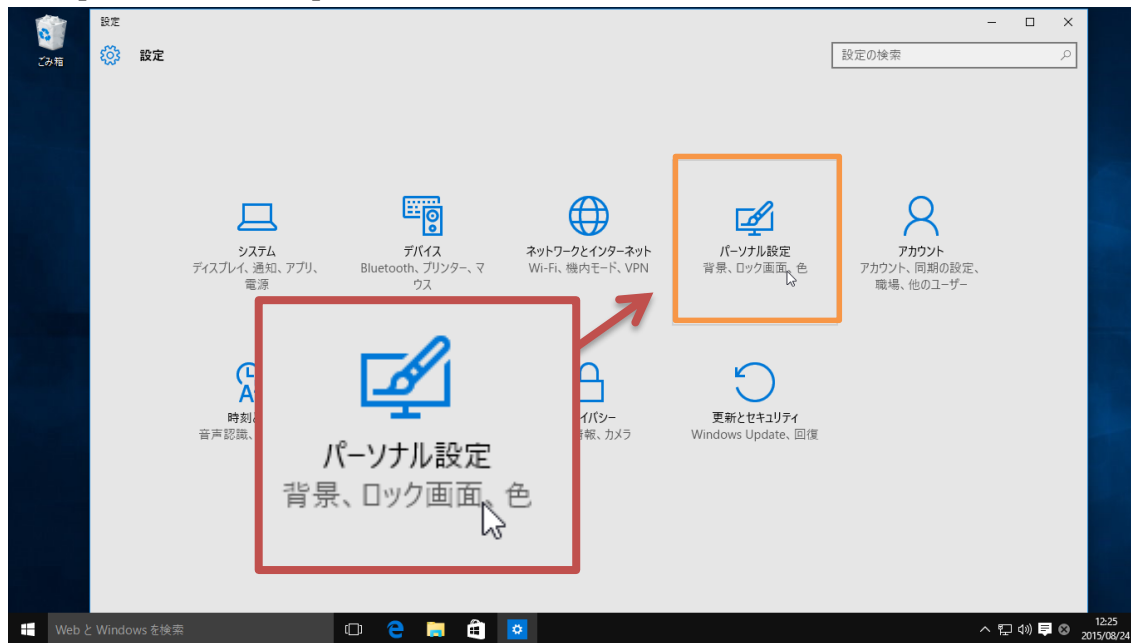
- ◆ パソコンは「マウス」と「キーボード」を使って操作します。マウスを動かすと「マウスポインター」が同時に動きます。
- ◆ マウスは「左ボタン」をメインに使います。この左ボタンを「カチッ」と軽く押す操作が「クリック」です。
- ◆ 電源を入れる時には「スイッチ」を押しますが、切る時には押しません。
- ◆ 電源を切る時には[スタート][電源][シャットダウン]を使います。

01章07節…練習問題

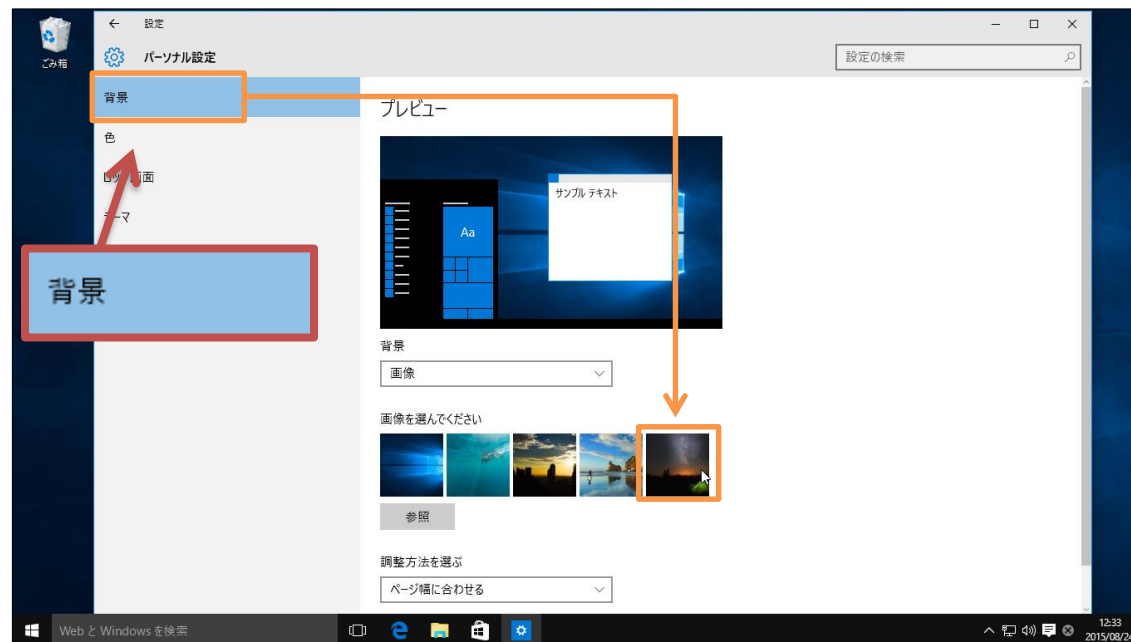
- (01)[スタート]ボタンをクリックします。それから[設定]をクリックしてみましょう。



(02)クリックを使って、背景を変更してみます。
[パーソナル設定]をクリックしてみましょう。

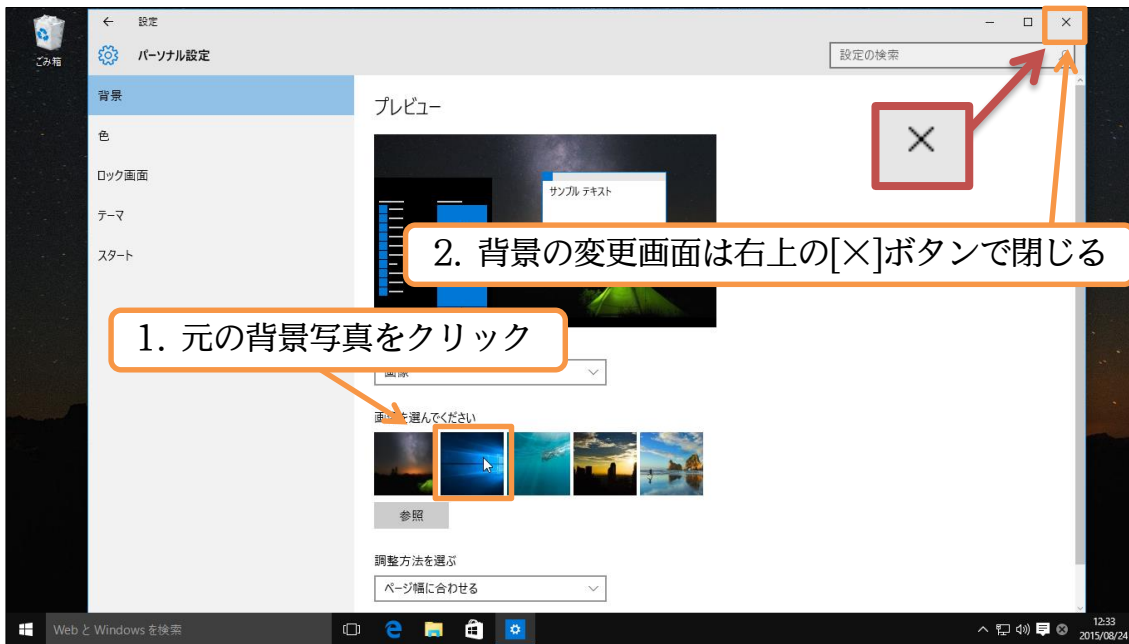


(03)[背景]から、現在とは別の背景写真をクリックしてみましょう。

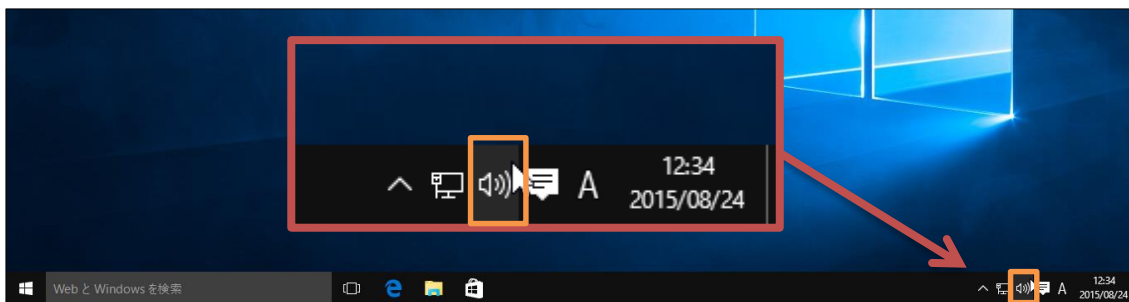


(04)元の背景写真をクリックします。

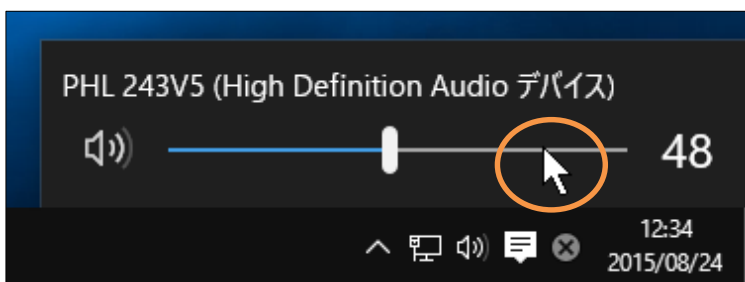
元に戻ったら背景の変更画面は、右上の[×]ボタンで閉じてください。



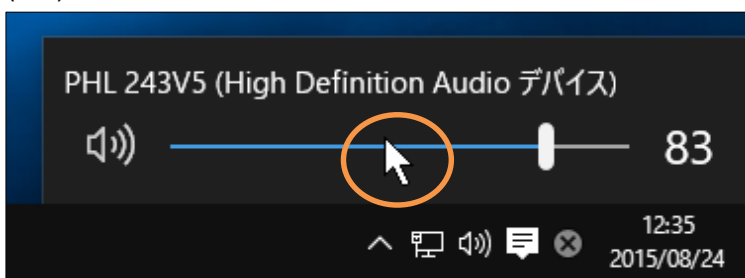
(05)音量の調整をします。画面の右下にあるサウンドボタン(🔊)を発見し、クリックしてください。



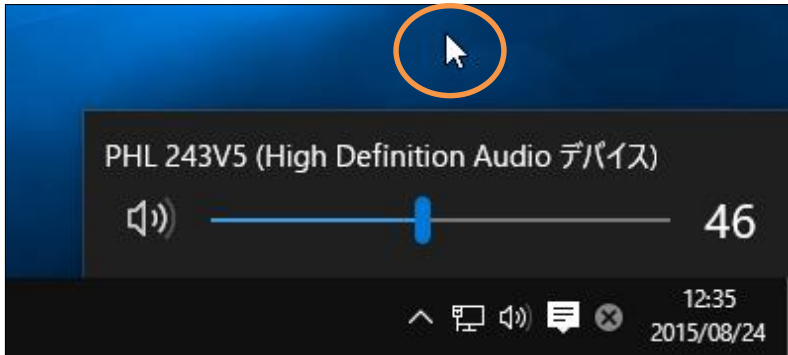
(06)サウンド調整のバーが表示されます。「0%~100%」の間で調整可能です。バー内をクリックして音量を変更してみましょう。



(07)元の音量と同じくらいに戻してみましょう。



(08)何もない部分をクリックすると音量調整バーが非表示になります。
音量調整バーを非表示にしてください。



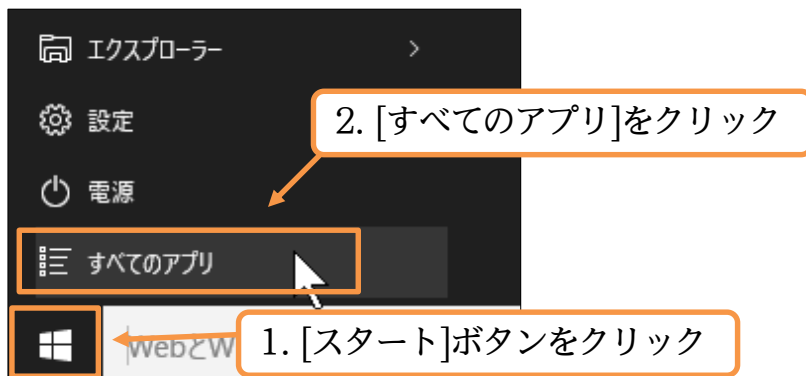
(09)電源をオフにしてください(シャットダウン)。
(10)電源がオフになったことを確認したら、再度電源を入れましょう。

第02章:アプリ・ソフト・プログラムを使う

02章01節…「アプリ」の起動

(01)パソコンでは、インターネットを見たりメールを送ったり、ワープロや計算機として使ったりできます。他にもデジタルカメラで撮影した写真を見たり、ゲームをしたり、というさまざまな作業ができます。このパソコンに備わっている、何かの作業・仕事をするための機能のことを「アプリ」と呼びます。

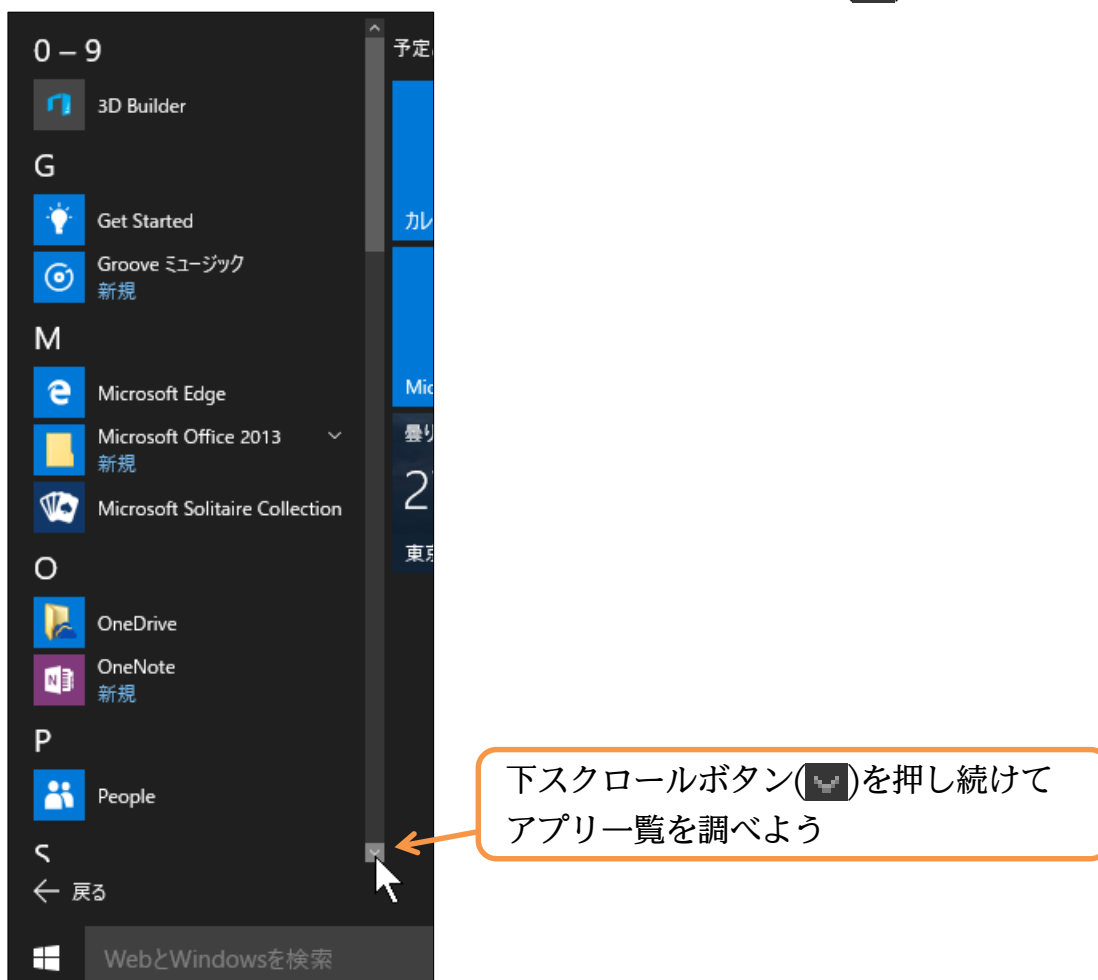
何かの「アプリ」を実行する際には[スタート]ボタンをクリックしてから[すべてのアプリ]をクリックします。



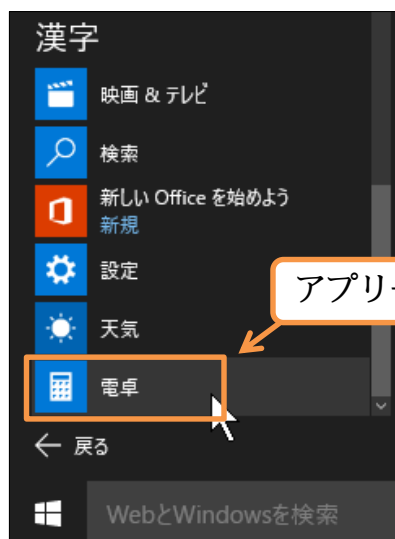
(02)すると、パソコンにセットされているアプリ名一覧が表示されます。

「数字→アルファベット→ひらがな/カタカナ→漢字」順に並んでいます。

下のほうにあるアプリを探すには下スクロールボタン(▼)を押し続けます。

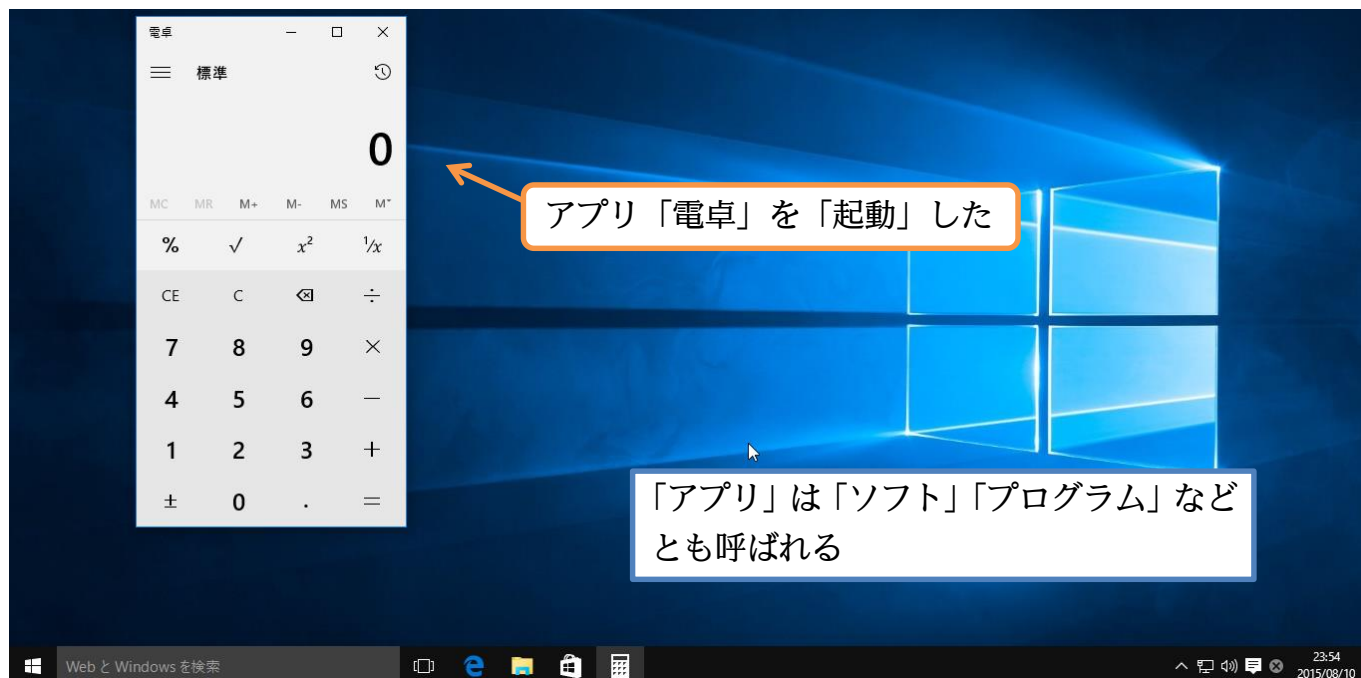


(03)さてここでは「電卓(計算機)」を使える状態にします。「電卓」は漢字名ですからアプリ一覧の中の下部にあります。探してクリックしてください。



アプリ一覧の中の[電卓]をクリック

(04)「電卓」が使える状態になりました。「アプリ」を画面に表示して使える状態にすることを、「アプリを起動する」といいます。



02章02節…アプリ「電卓」を使ってみよう 1

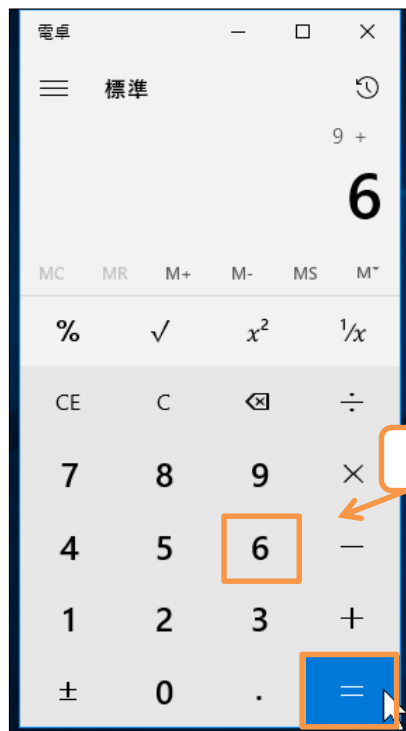
(01)「電卓」を利用して、パソコンを計算機として使ってみましょう。「9+6」を計算させます。ボタンをクリックして使います。「9」をクリックしましょう。



(02)続けて、「+」をクリックします。



(03)続けて、「6」「=」をクリックしましょう。

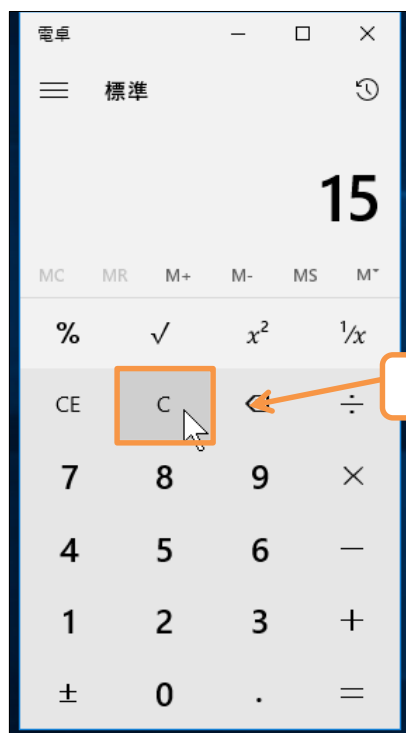


キーボードの{Enter}キーにも「=」の効果がある

1. 「6」「=」をクリック

2. 「=」をクリック

(04)「15」と計算結果が表示されました。一旦数値をクリアします。「C」ボタンをクリックしましょう。

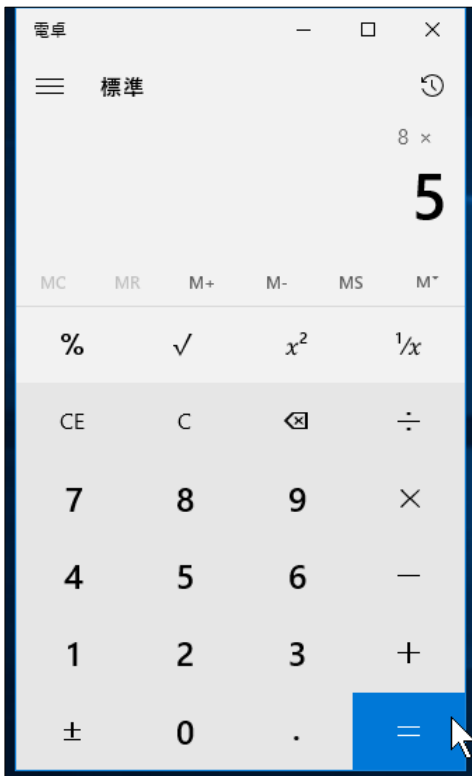


キーボードの{Esc}キーにも「クリア」の効果がある

「C」ボタンをクリックしてクリア

02章03節…アプリ「電卓」を使ってみよう 2

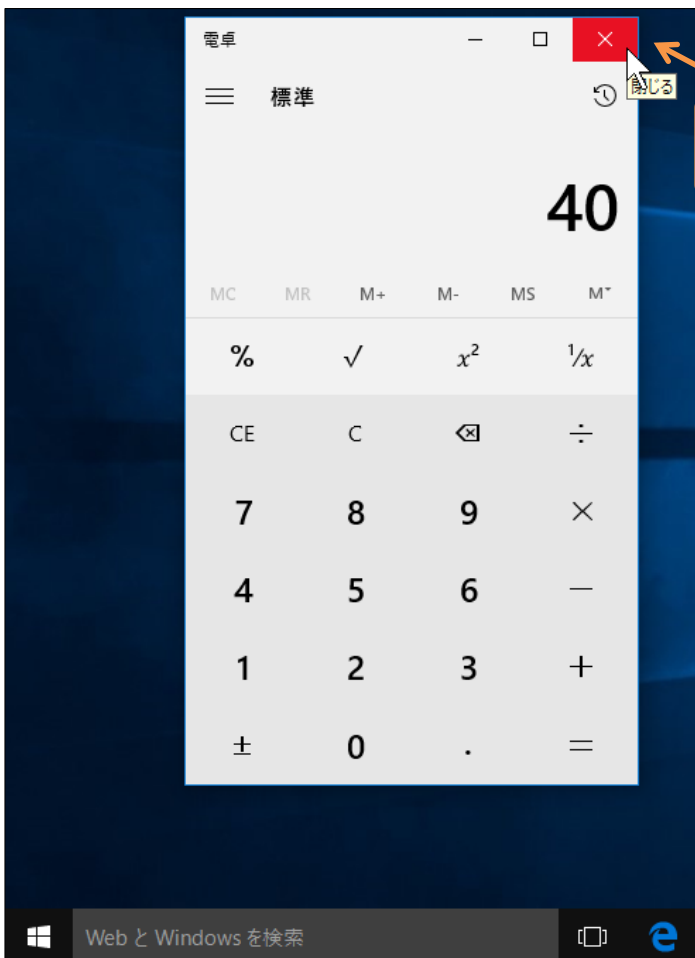
(01)今度は「 $8 \times 5 =$ 」の計算をやってみましょう。



キーボードから「 \times 」を入力するならば
「 $*$ 」の記号を代わりに使う

「 $8 \times 5 =$ 」とクリック

(02)掛け算が終了したら、「電卓」を終了します。終了する時には右上の \times ボタン・[閉じる]をクリックします。終了させてください。



[閉じる](\times)をクリックし電卓を
終了させる

02章04節…「ドラッグ」とは？

『ドラッグ』とは、マウスの左ボタンを押したままマウスを動かす操作です。絵を描いたり、物を引っ張ったりする作業に使います。

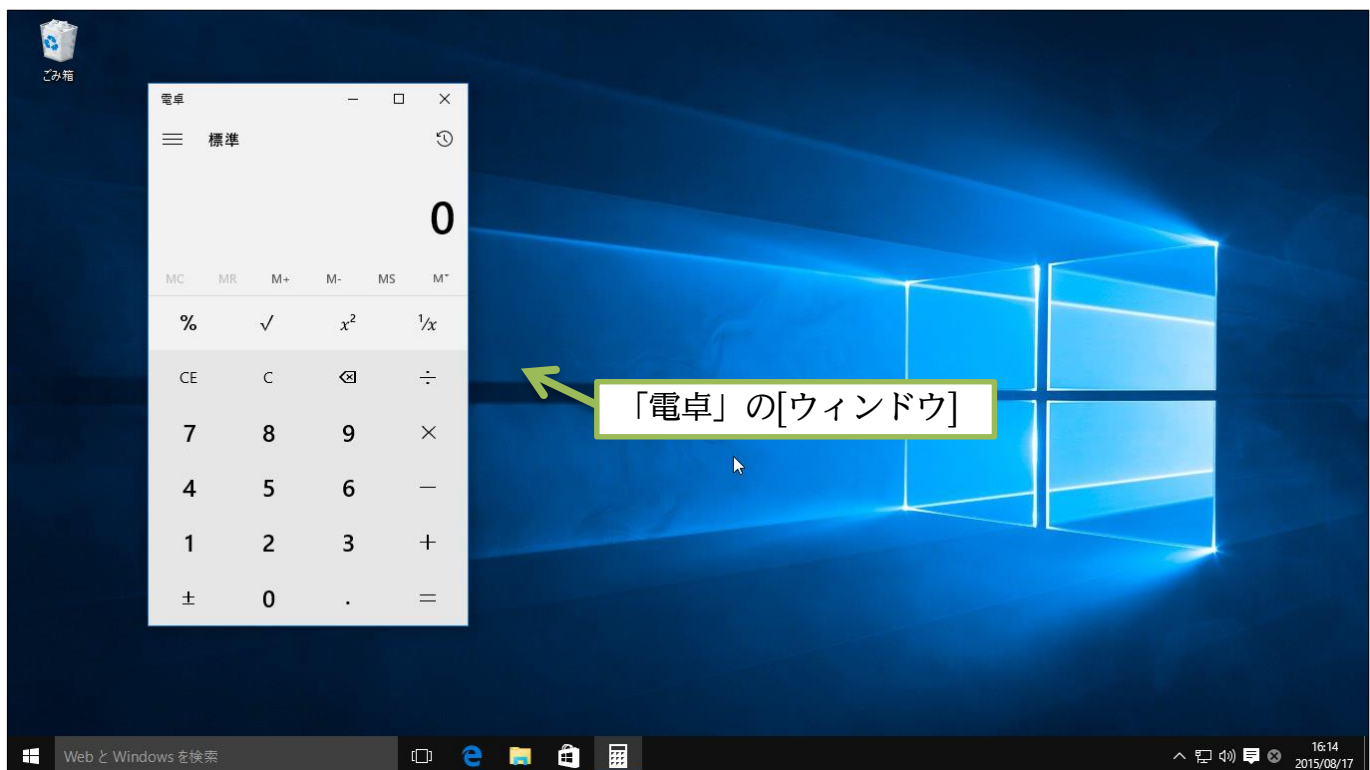
マウスの左ボタンを「押し続け」たままマウスポインターを動かす作業が『ドラッグ』です。
最後に左ボタンから指を放します。



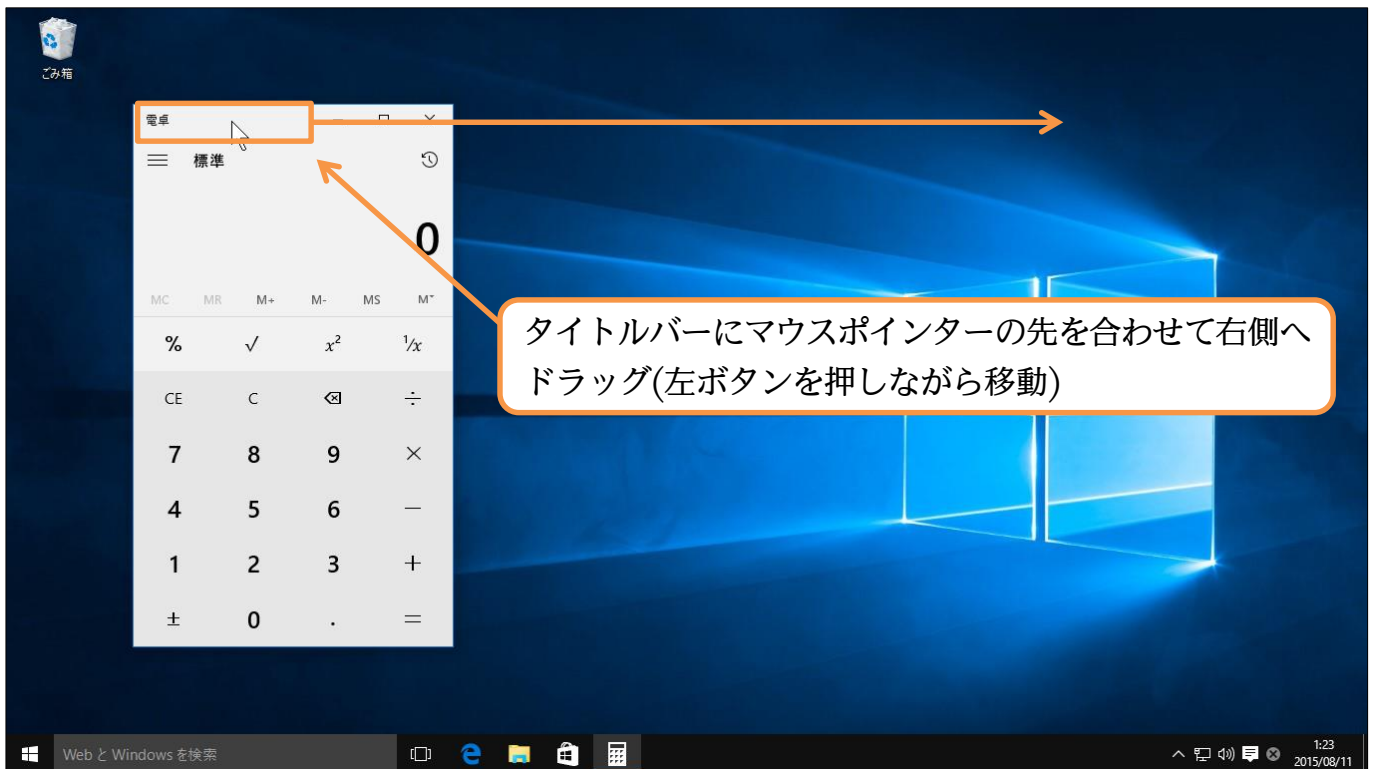
02章05節…「ドラッグ」で[ウィンドウ]を移動させる

(01)再び「電卓」アプリを起動してください。

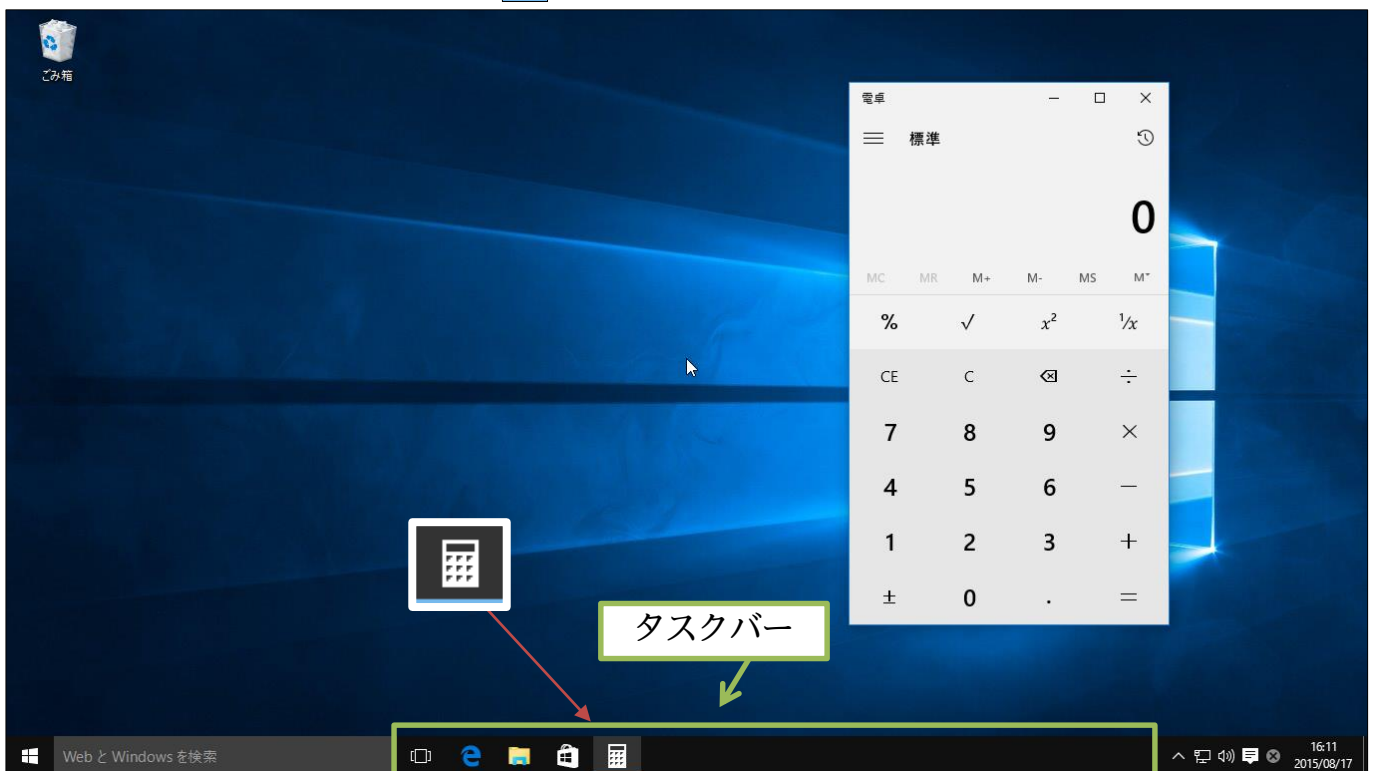
さて画面全体に対して「電卓」が占めている部分を【電卓の[ウィンドウ]】と呼びます。
これからこの「電卓」ウィンドウの場所を右側へ移動します。



(02)この「電卓ウィンドウ」を移動させる場合には、ウィンドウ上部のアプリ名(電卓)が表示されている部分(またはその右の空間)をドラッグします。ここを「タイトルバー」と呼びます。タイトルバーにマウスポインターの先を合わせて、左ボタンを押しながら右側へ移動させましょう(これが「ドラッグ」操作)。

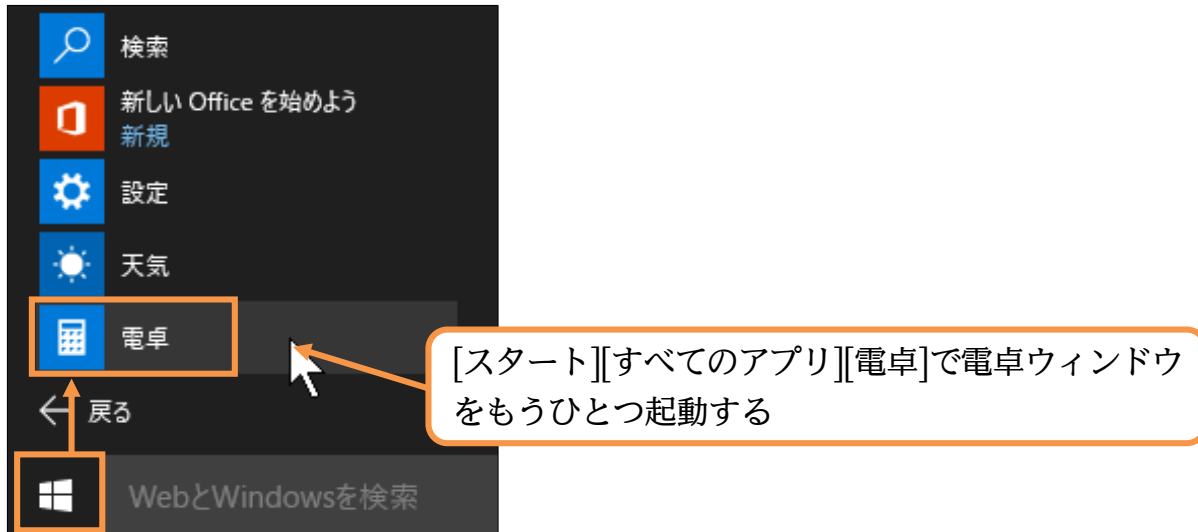


(03)移動が完了しました。タイトルバーにポインターの先を合わせてドラッグすれば、アプリのウィンドウを移動させることができます。なお電卓を起動中は、画面下の「タスクバー」内に電卓のマーク(☰)が下線付きで表示されます。



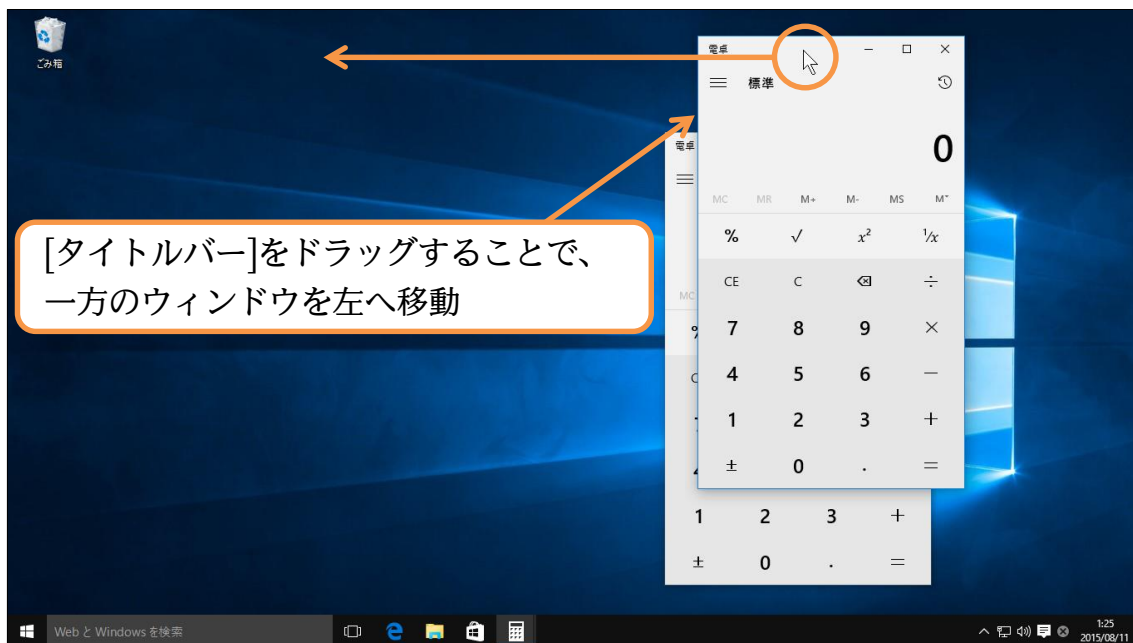
02章06節…複数のウィンドウを使う

(01)画面上に複数の「電卓」アプリウィンドウを表示して利用することができます。1台のパソコンで複数の電卓を同時に取り扱うことができるのです。[スタート][すべてのアプリ][電卓]をクリックすることで、もう1台分の電卓ウィンドウが表示されます。

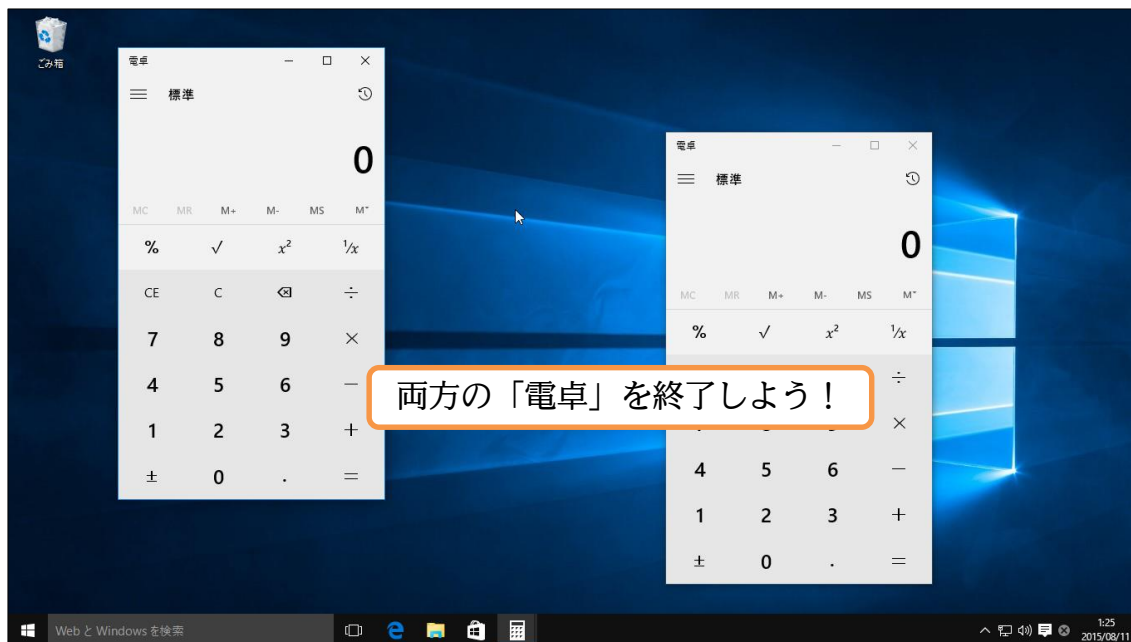


(02)複数の「電卓ウィンドウ」を表示することができました。もちろん、それぞれのウィンドウで別の計算をさせることができます。

さて一方のウィンドウを左へ移動させてください。[タイトルバー]をドラッグします。

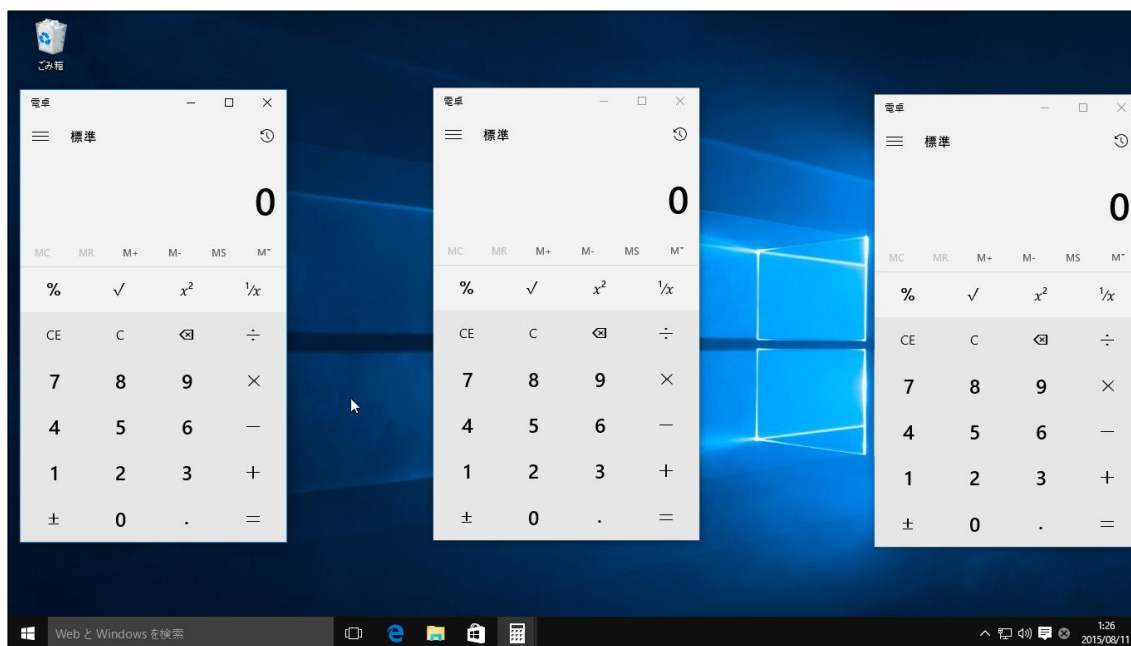


(03)確認後は両方の電卓ウィンドウを、閉じてください。[閉じる]ボタン(X)を使います。



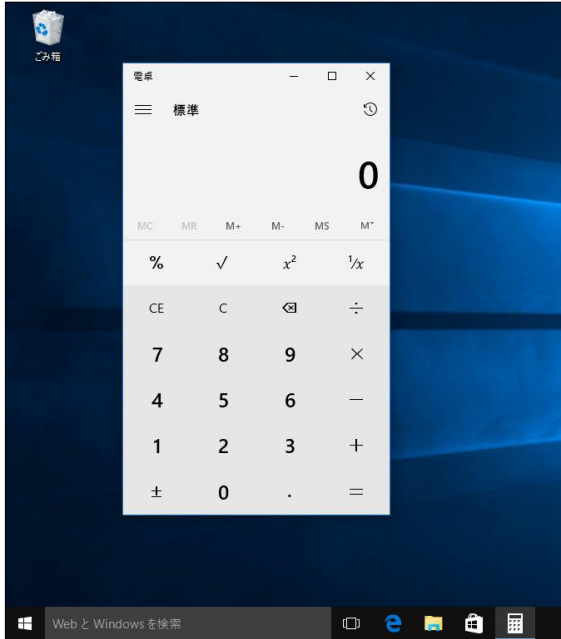
02章07節…練習問題

以下のように「電卓」ウィンドウを3つ出して並べてみよう！
完成後はすべての「電卓」ウィンドウを閉じてください。



02章08節…タスクバーの[右クリック]からアプリの多重起動

(01)再び電卓を起動しておいてください。

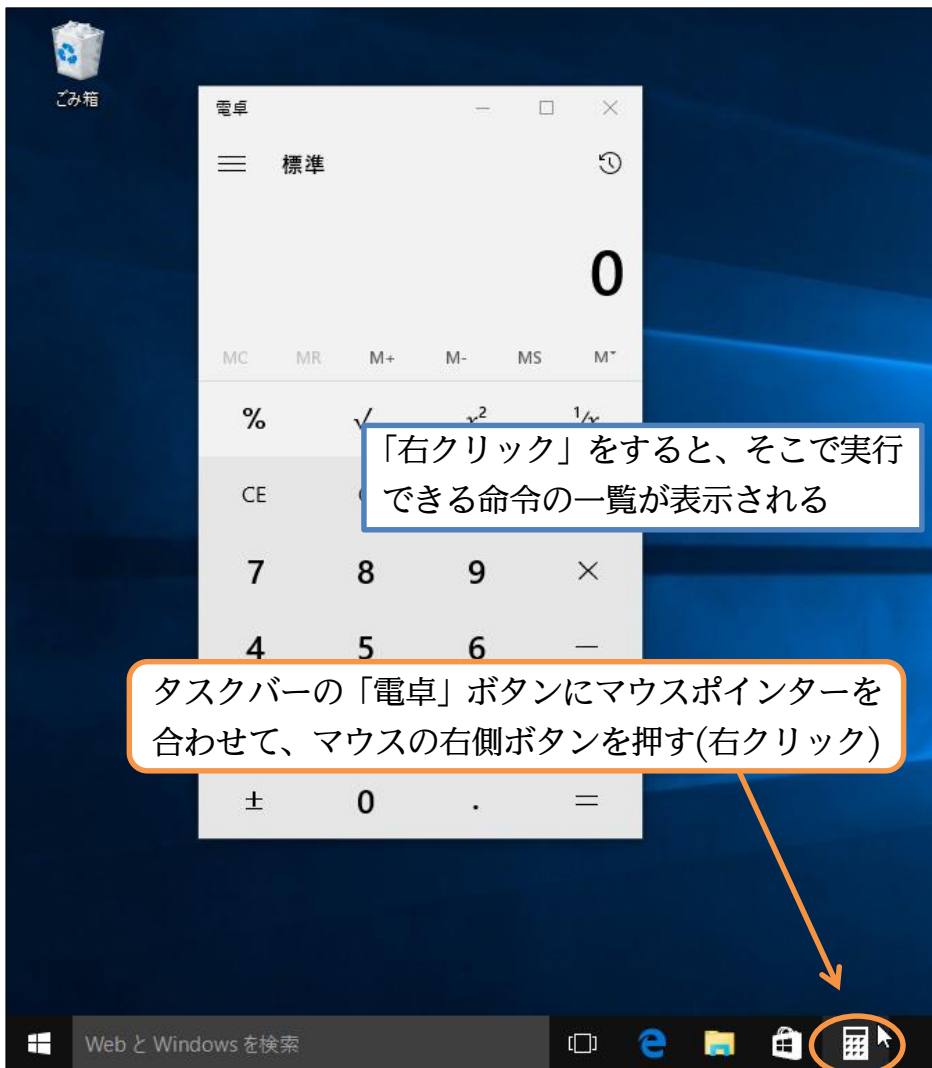


『右クリック』とはマウスの右側のボタンを「カチッ」と一回押す操作です。

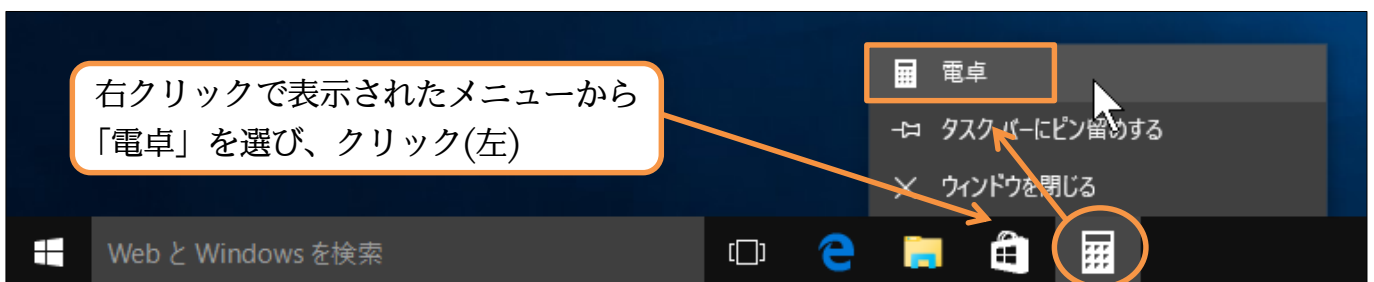
マウスの右ボタンを押す
操作が『右クリック』



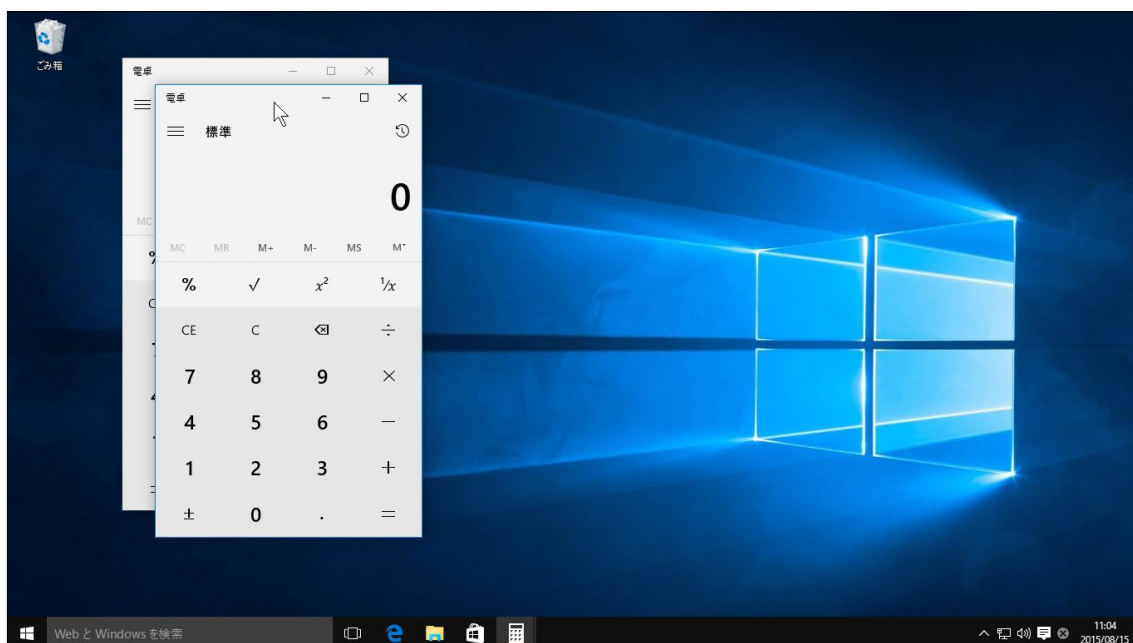
(02)パソコンでは画面上に複数の電卓ウィンドウを表示して利用することができました。
[スタート][すべてのアプリ]からもう一度「電卓」を起動すればよかったのです。
ここでは別の方法で「電卓」の追加起動をする方法を学習します。アプリのウィンドウを増やすには、タスクバーからそのアプリのマーク・ボタンを右クリックします。



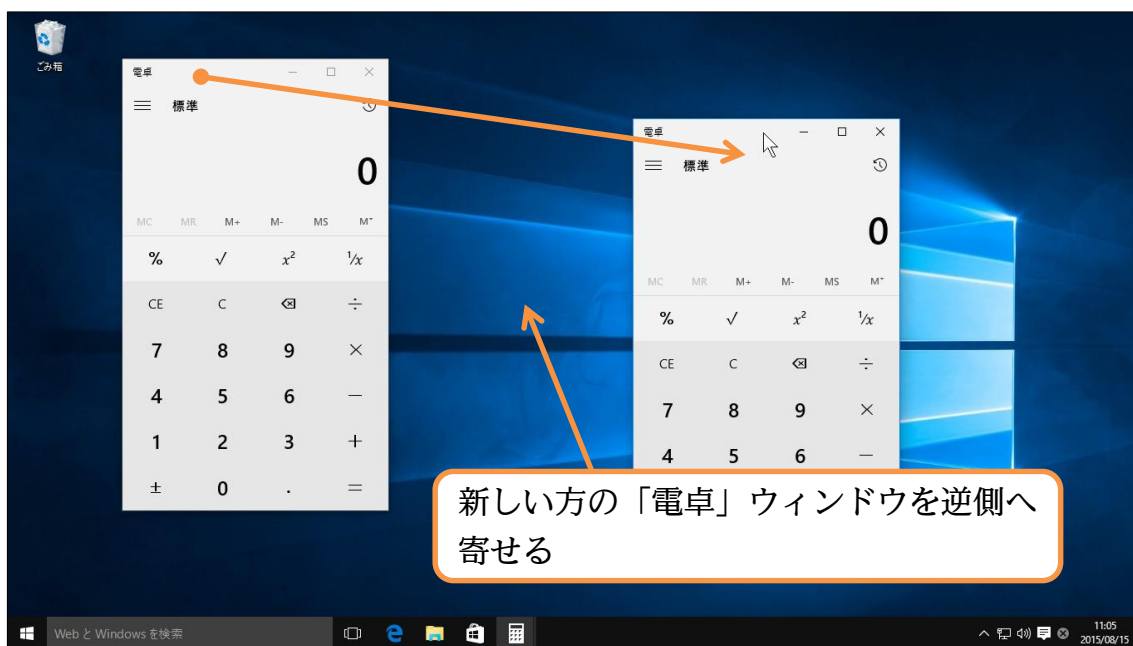
(03)右クリックするといくつかのボタンが表示されます。ここから「電卓」をクリック(左)すると、アプリウィンドウがもう1つ追加で起動します。



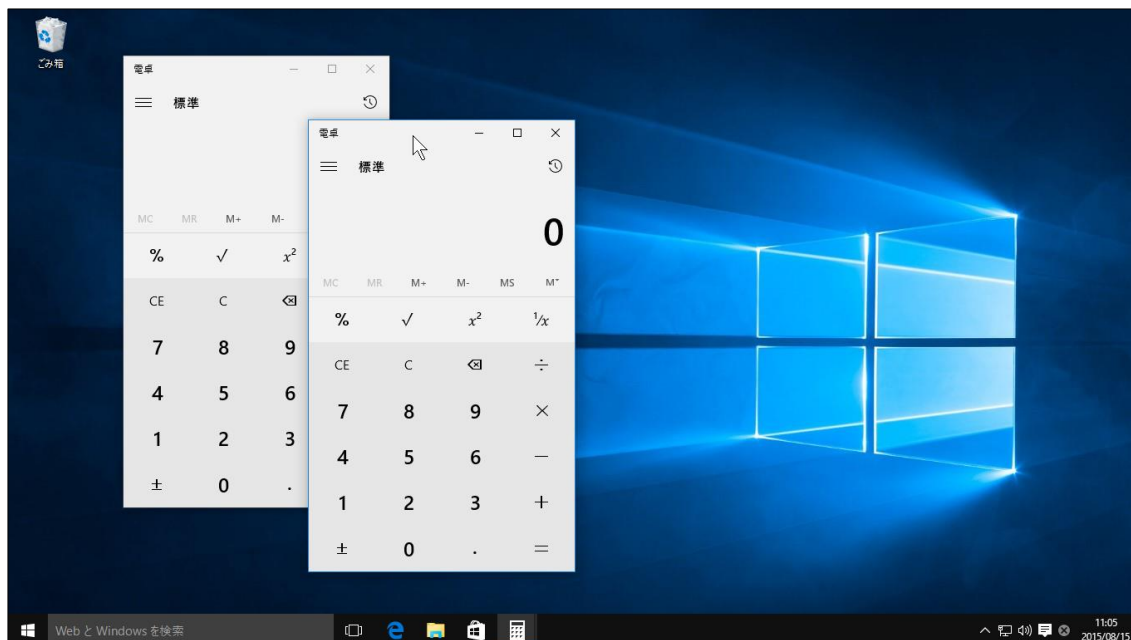
(04)複数の「電卓ウィンドウ」を表示することができました。もちろん、それぞれのウィンドウで別の計算をさせることができます。



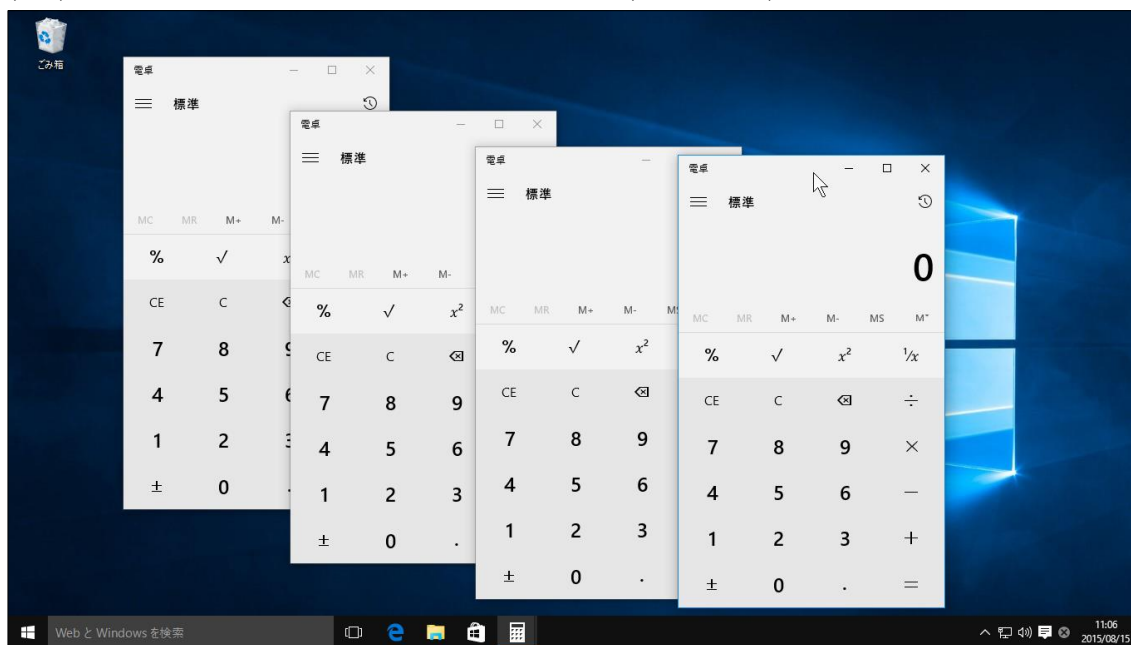
(05)それでは新しい方の「電卓」ウィンドウを逆側へ寄せましょう。「タイトルバー」を使えばアプリのウィンドウが移動できました。



(06)元のようにかぶせてください。

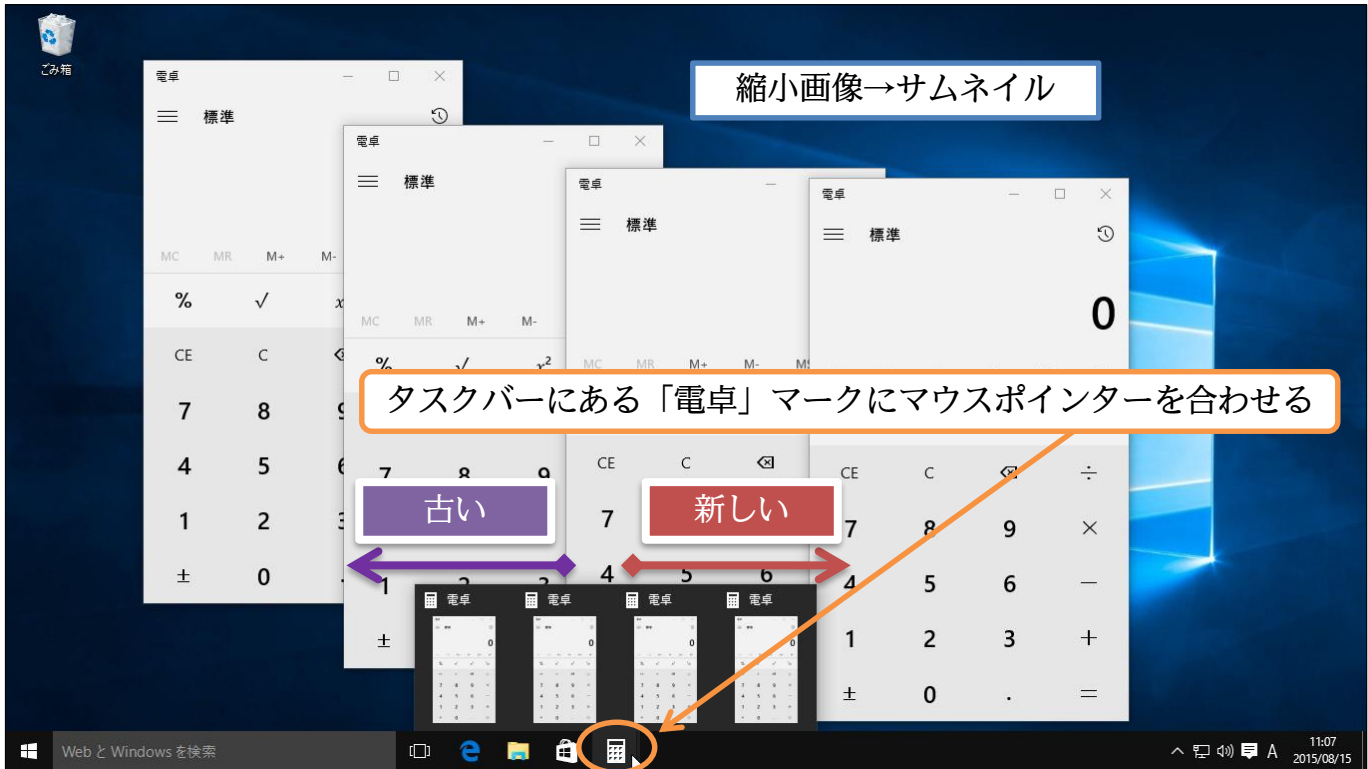


(07)さらに2つの電卓を起動してください(合計4つ)。



02章09節…ウィンドウの切り替えと[閉じる]

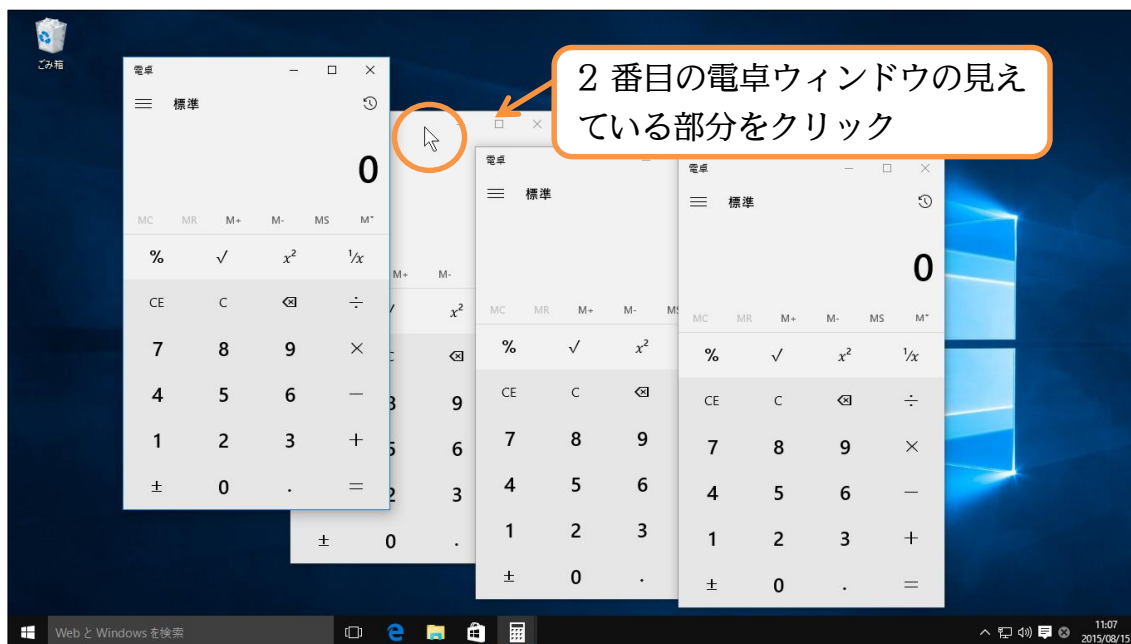
(01)背面に隠れた古い方のウィンドウを手前に表示させます。ウィンドウを切り替えるには、タスクバーに表示されているアプリのマーク・ボタンにマウスポインターを合わせます(クリックはしない)。すると4つの「電卓」縮小画像(サムネイル)が表示されます。左の画像が古いウィンドウを意味します。



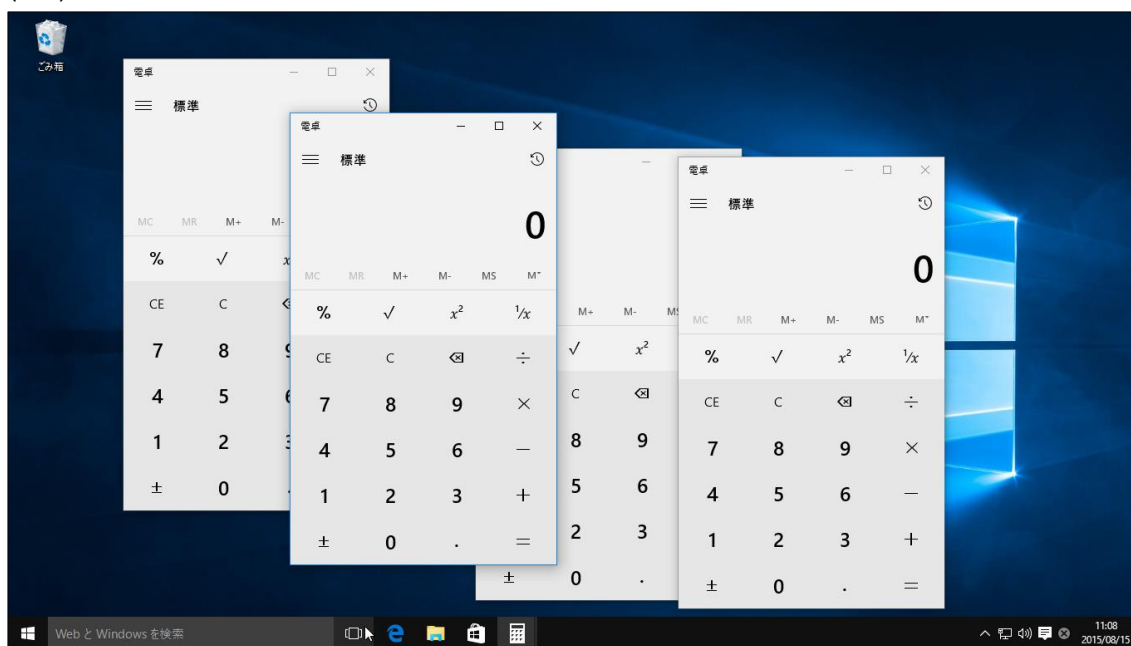
(02)左側の画像をクリックしましょう(古い方)。これが手前になります。



(03)手前に表示させるウィンドウを変更できました。さて他の方法で背面にあるウィンドウを手前に出します。ウィンドウの見える部分をクリックするのです。2番目の電卓ウィンドウをクリックしましょう。



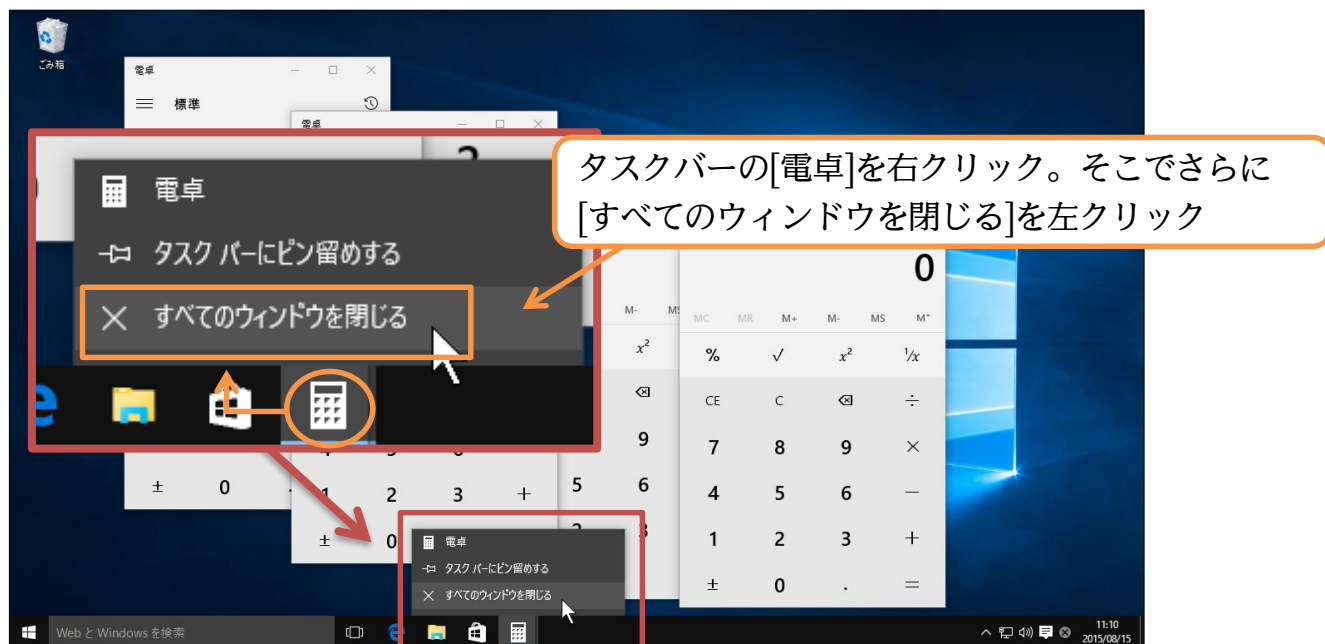
(04)切り替わりました。



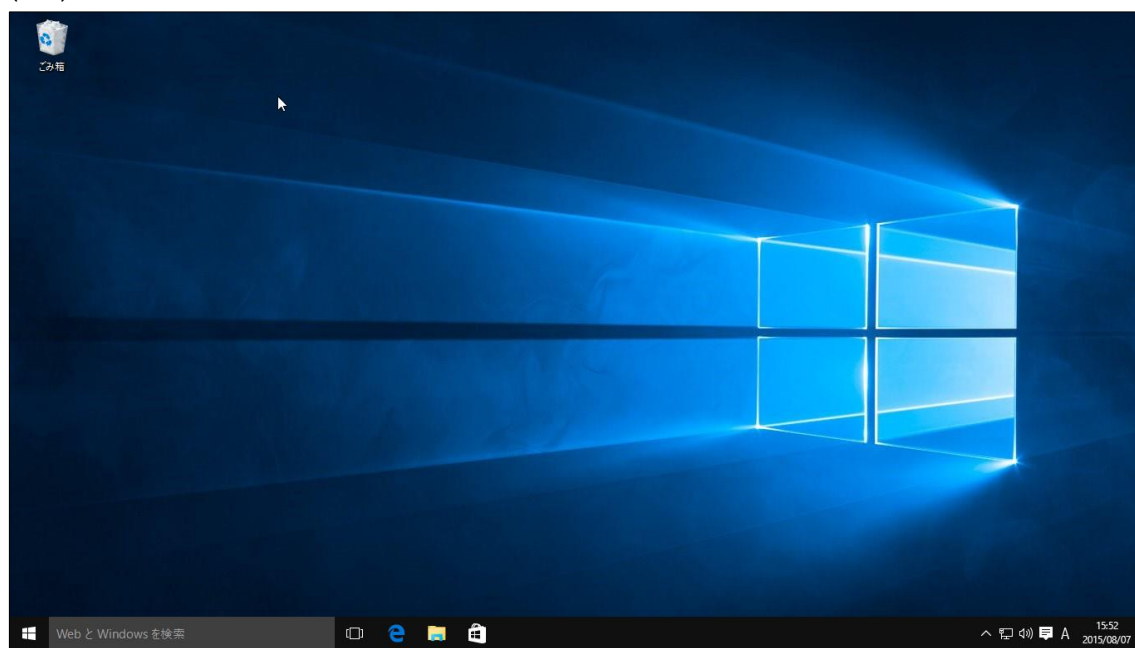
(05)次にすべての「電卓」アプリウィンドウを一括で閉じます。

タスクバーの[電卓]を右クリックしてメニューを表示させます。

そこでさらに[すべてのウィンドウを閉じる]を左クリックします。



(06)初期状態に戻りました。

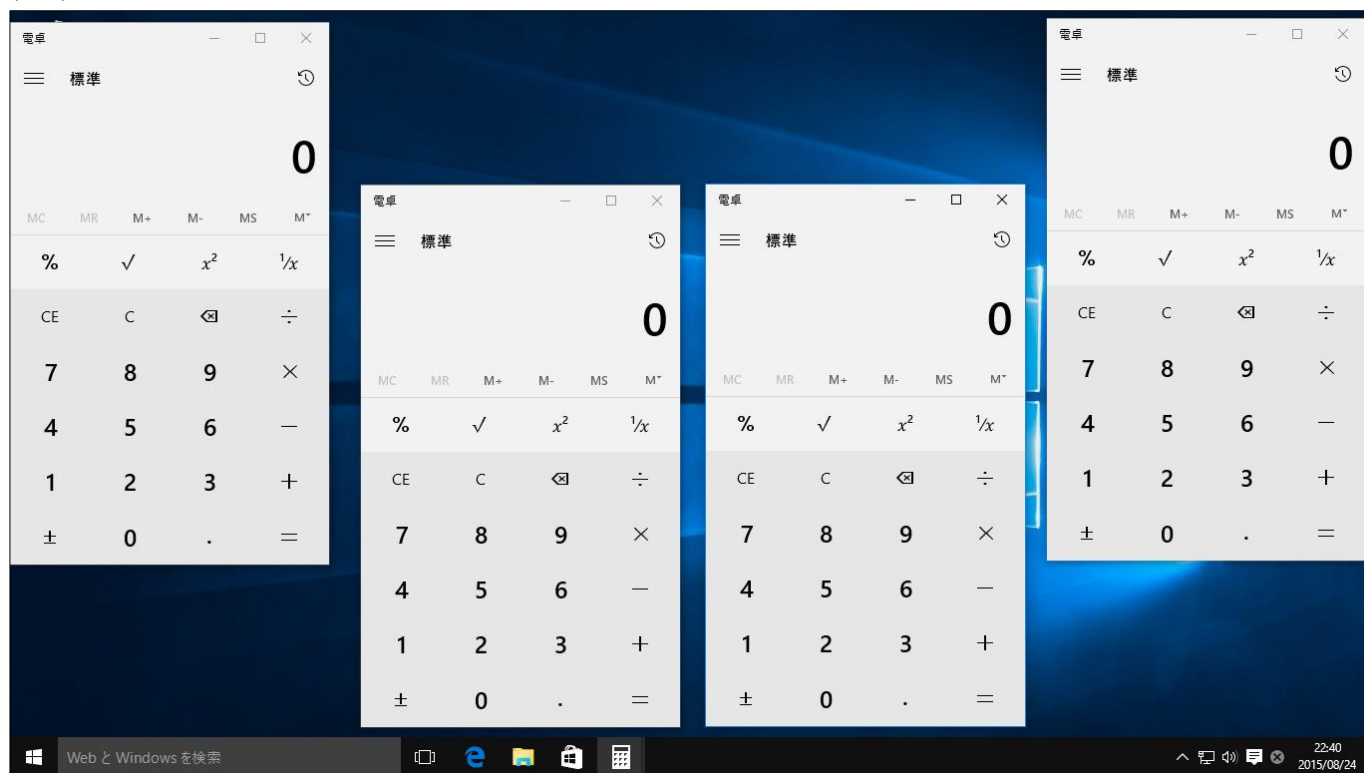


02章10節…まとめ

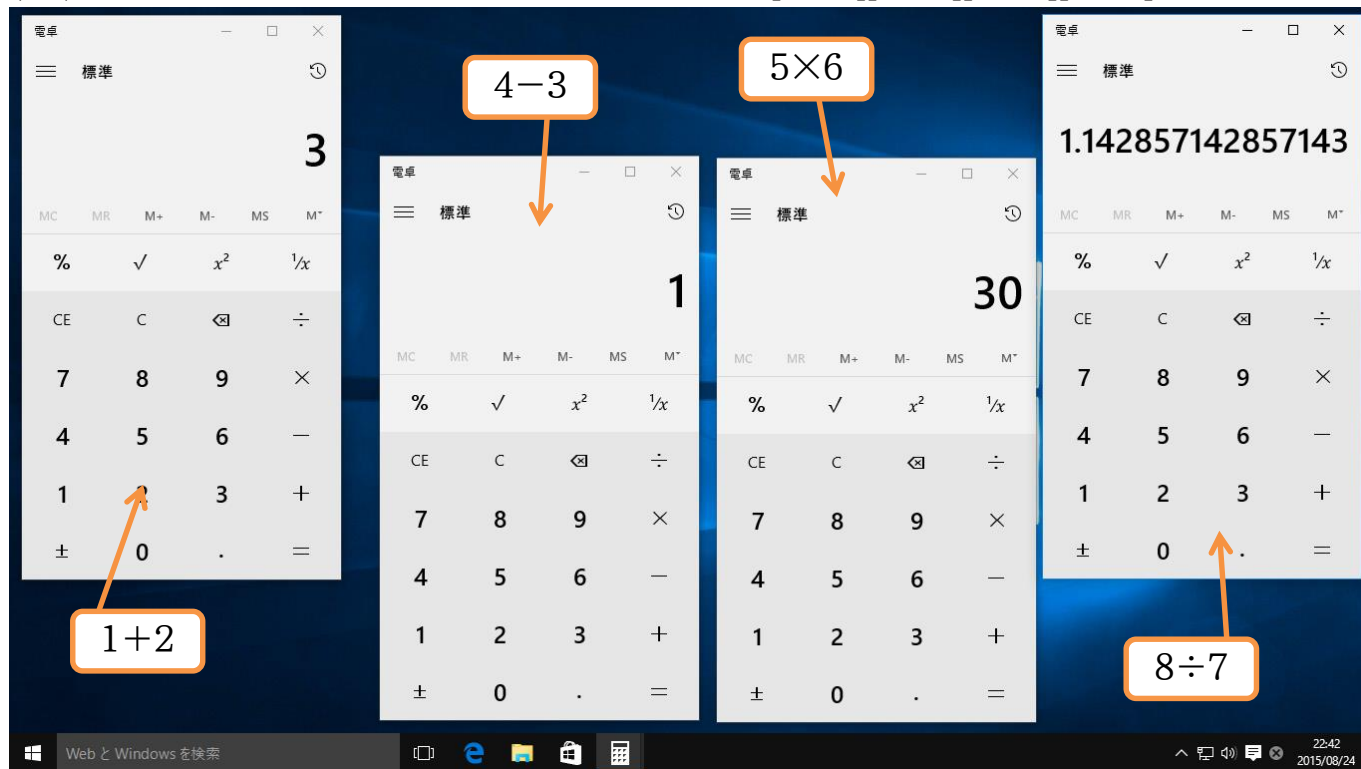
- ◆ パソコンにセットされている、仕事やゲームなど一連の作業ができる機能を「アプリ」「ソフト」「プログラム」などと呼びます。今回は「電卓」アプリを使用しました。
- ◆ 「アプリ」を使うためには「起動」が必要です。起動は[スタート]ボタンから「すべてのアプリ」を使います。
- ◆ アプリを起動した時に占有するスペースを「ウィンドウ」と呼びます。
- ◆ アプリのウィンドウを多重起動する場合には、「タスクバー」のアプリボタンを「右クリック」します。
- ◆ 背面にあるウィンドウを最前面に移動するには、タスクバーを使うか見えている部分をクリックするかをします。
- ◆ 「ドラッグ」はマウスの左ボタンを押したまま動かす操作です。
- ◆ 「ドラッグ」では「ウィンドウ」の位置を変更することができます。
- ◆ 起動中のアプリは「タスクバー」に表示されます。

02章11節…練習問題

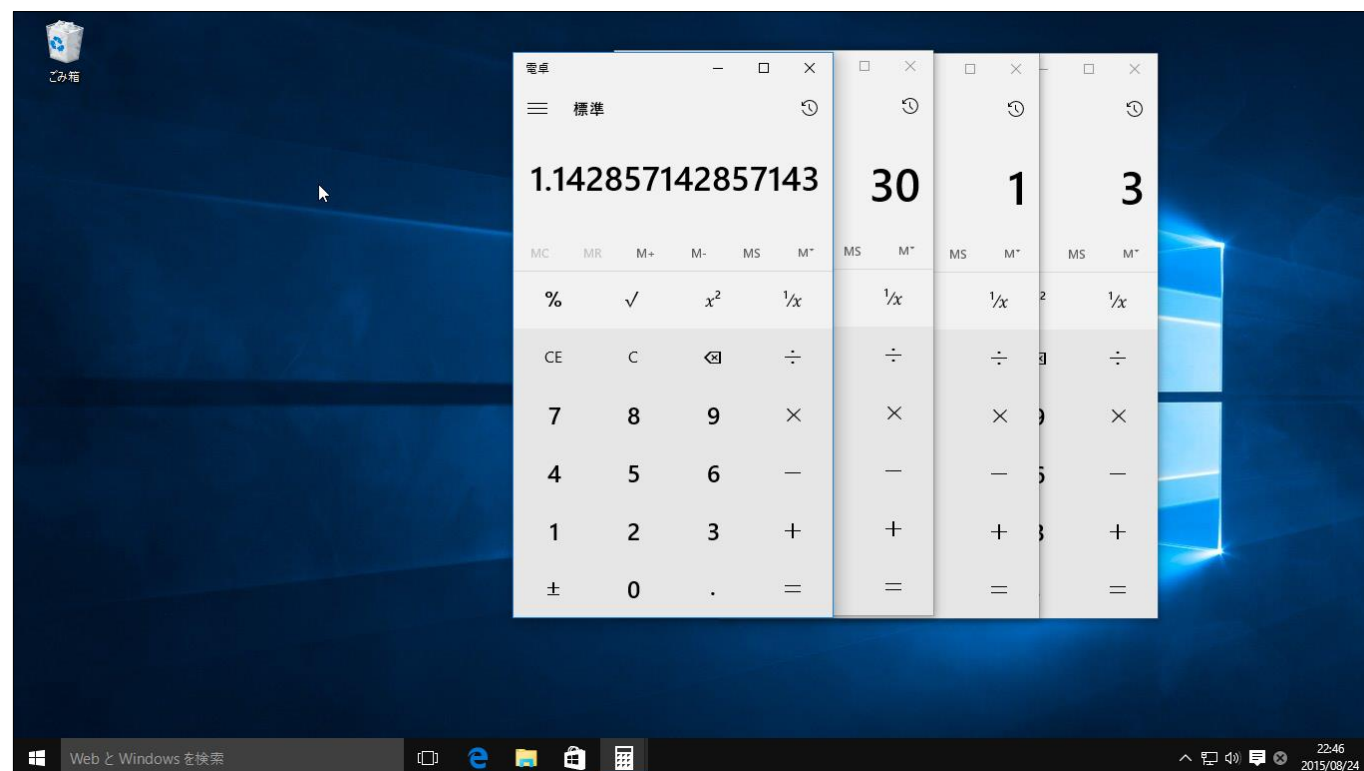
(01)「電卓」のウィンドウを4つ起動し、以下のように画面にレイアウトしてみましょう。



(02)各電卓ウィンドウで計算をしてみましょう。左から[1+2][4-3][5×6][8÷7]をします。



(03)以下のようにウィンドウレイアウトを変更してみましょう。「8÷7」のウィンドウを手前にします。



(04)以下のようにウィンドウレイアウトを変更してみましょう。「1+2」のウィンドウを手前にします。変更後はすべてのウィンドウを閉じます。

